

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	実技	科目名	サロンワークⅡ-1		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワークⅡ-1		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	1実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する 2「美」を通す人を魅了することへの表現力を身につける。				
到達目標	1お客様に施術などの説明ができ、満足の頂ける技術及び接客が出来る 2日ごろの授業のアウトプットとして、人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる				
評価基準	1授業態度他20%・接客態度他40%・技術レベル30% 2レポート10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイル教科全般				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	知名澄子 他1名	実務経験		○	
実務内容	ネイルサロン勤務後、フリーネイリストとして出張ネイルと自宅サロンを兼務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年次復習	<ul style="list-style-type: none"> 様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシュミレーションする 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ 施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ BEAUTY SHOWを通じ、「美」を通す人を魅了することへの表現力を身につける
2	サロンワーク技術	
3	サロンワーク技術	
4	サロンワーク技術	
5	サロンワーク技術	
6	サロンワーク技術	<ul style="list-style-type: none"> 様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシュミレーションする 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ 施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ BEAUTY SHOWを通じ、「美」を通す人を魅了することへの表現力を身につける
7	サロンワーク技術	

8	サロンワーク技術	
9	サロンワーク技術	
10	サロンワーク技術	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシュミレーションする ・施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ ・施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ ・BEAUTY SHOWを通じ、「美」を通す人を魅了することへの表現力を身につける
11	サロンワーク技術	
12	サロンワーク技術	
13	サロンワーク技術	
14	サロンワーク技術	
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	実技	科目名	サロンワークⅢ-Ⅰ		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワークⅢ-Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	1実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する 2「美」を通す人を魅了することへの表現力を身につける。				
到達目標	1お客様に施術などの説明ができ、満足の頂ける技術及び接客が出来る 2日ごろの授業のアウトプットとして、人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる				
評価基準	1授業態度他30%・接客態度他40%・技術レベル30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイル教科全般				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシュミレーションする 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ 施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ
2	サロンワーク技術	
3	サロンワーク技術	
4	サロンワーク技術	
5	サロンワーク技術	
6	サロンワーク技術	<ul style="list-style-type: none"> 様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシュミレーションする 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ 施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ
7	サロンワーク技術	

8	サロンワーク技術	
9	サロンワーク技術	
10	サロンワーク技術	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシュミレーションする ・施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ ・施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ
11	サロンワーク技術	
12	サロンワーク技術	
13	サロンワーク技術	
14	サロンワーク技術	
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	実習	科目名	施設実習Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	施設実習Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	40
使用教材	実習手帳		出版社	なし	

科目の基礎情報2

授業のねらい	日々の授業で学んだ知識・技術を実践の場で活かし、実践力を養う。 現場や社会に触れることで、業界で求められる姿勢や社会人としての基礎力を学ぶとともに、幅広い年代の方との関わりを通して、コミュニケーション力やマナー、気配りを身につける。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学内で学んだ知識・技術を現場で活かし、実践的に行動できる。 ・社会人として必要なマナーや責任感を身につける。 ・報告・連絡・相談を意識し、周囲と協力して行動できる。 ・相手の立場を考えたコミュニケーションや気配りを実践できる。 ・現場経験を通して自身の課題を理解し、今後の成長につなげる。 				
評価基準	1 企業側評価60%(実習成績評価表にて採点) 2 学校側評価40%(実習手帳にて採点)				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	就職対策Ⅰ、就職対策Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	実習	科目名	施設実習Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	施設実習Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	40
使用教材	実習手帳		出版社	なし	

科目の基礎情報2

授業のねらい	日々の授業で学んだ知識・技術を実践の場で活かし、実践力を養う。 現場や社会に触れることで、業界で求められる姿勢や社会人としての基礎力を学ぶとともに、幅広い年代の方との関わりを通して、コミュニケーション力やマナー、気配りを身につける。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学内で学んだ知識・技術を現場で活かし、実践的に行動できる。 ・社会人として必要なマナーや責任感を身につける。 ・報告・連絡・相談を意識し、周囲と協力して行動できる。 ・相手の立場を考えたコミュニケーションや気配りを実践できる。 ・現場経験を通して自身の課題を理解し、今後の成長につなげる。 				
評価基準	1 企業側評価60%(実習成績評価表にて採点) 2 学校側評価40%(実習手帳にて採点)				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	就職対策Ⅰ、就職対策Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	リクルートガイドブック		出版社	なし	

科目の基礎情報2

授業のねらい	就職の心構えや企業のエントリー方法を知る。 面接や内定後までの流れを知る。				
到達目標	就職活動の流れを理解する。 魅力的な履歴書の書き方を習得する。 面接方法が実践できる。				
評価基準	授業態度30%・提出物30%・期末テスト20%・レポート20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式に実施する。				
担当教員	井上友梨香 他2名	実務経験		○	
実務内容	ELCジャパン合同会社で美容部員として約7年勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	就職規定再確認 早期研修について	就職対策授業計画と評価について 就職活動のルールについて理解する
2	就職スケジュール振り返りと再設定 SPI・筆記・一般常識対策	就職スケジュール振り返りと再設定 社会人基礎力
3	SPI・筆記・一般常識対策	SPI・一般常識の問題を解き、実力をつける。
4	面接対策2	多様な質問に臨機応変に対応する能力
5	面接対策2	多様な質問に臨機応変に対応する能力
6	選考対策	二次募集、中途採用の条件について
7	社会人基礎力について1	社会人として求められる考え方・行動について理解する
8	一般常識対策	一般的な漢字の読み書き・計算

9	一般常識対策	一般常識対策問題
10	社会人基礎力について2	長期就労のためのコンテンツ（目標、モチベーション維持）
11	対策まとめ	人間関係を築く為に必要な挨拶・礼儀・マナー・モチベーションの保ち方、内定者意識付け
12	対策まとめ2	夏休みに向けて 未決定者 夏休み就活指導、内定者指導
13	接客用語対策	接客用語と間違えやすい言葉を学ぶ
14	テスト	成績評価テスト2
15	総まとめ	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅳ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅳ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	リクルートガイドブック		出版社	なし	

科目の基礎情報2

授業のねらい	就職の心構えや企業のエントリー方法を知る。 面接や内定後までの流れを知る。				
到達目標	就職活動の流れを理解する。 魅力的な履歴書の書き方を習得する。 面接方法が実践できる。				
評価基準	授業態度30%・提出物30%・期末テスト20%・レポート20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式に実施する。				
担当教員	井上友梨香 他3名	実務経験		○	
実務内容	ELCジャパン合同会社で美容部員として約7年勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	就職規定再確認	就職対策授業計画と評価について 就職スケジュール振り返りと再設定 内定者は入社までの過ごし方を考え目標設定する
2	社会人に求められるスキル1	求められる人物になるために
3	会社、仕事とは	成果主義について、その他福利厚生について知る
4	人間関係構築力について	人間関係構築力について
5	社会人に求められるスキル1	社会人と学生の違いを知る
6	働く目的	働く目的を考える
7	人生設計について具体的に考える	人生設計について具体的に考える

8	社会人に求められるスキル2	優先順位を考える
9	社会人基礎力について5	ストレスコントロール力について
10	初期クレーム対応の仕方について	クレームが発生する時はどのようなケースが多いのかを学ぶ。・クレームの原因について学ぶ
11	接客対応方法	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様とのアイスブレイク練習 ・接客のロールプレイングを実施し、良い接客をする為について検討する
12	冬休みの過ごし方	有意義な長期休みを過ごすための落とし込み
13	テスト	成績評価テスト2
14	総まとめ	社会人なる皆さんへ最後のメッセージ
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	着付けⅠ-A		
必修選択	選択	(学則表記)	着付けⅠ-A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	教本・お太鼓枕・帯板・伊達締め(2)・腰ベルト・腰ひも(4)・和装スリップ(下着)・クリップ(2)・足袋		出版社	桜花出版 KW	

科目の基礎情報2

授業のねらい	着付に関する知識・技術を身につける。				
到達目標	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることが出来る。 技術の習得目安として、 ・きもの着付け3級(6月強制受験 免許強制) を取得することが出来る。				
評価基準	検定試験：40% テスト：30% 授業態度：30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、一般財団法人京都きもの伝承文化協会 きもの着付け資格				
関連科目	着付けⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	内谷愛代	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、授業ルールについて、到達目標について、教材小物の説明・記名、考査票の記入、足袋サイズの確認
2	小紋の着せ方1	補整、長襦袢の着せ方、たたみ方を学び実践する
3	小紋の着せ方2	小紋の着付(裾線、衿合せ)、たたみ方を学び実践する
4	小紋の着せ方3	小紋の着付(お端折の作り方)を学び実践する
5	小紋の着せ方4	半幅帯(蝶結び)の結び方を学び実践する 小テスト(着物の名称)を実施する
6	小紋の着せ方5	小紋の着付を仕上げる(検定対策)
7	小紋の着せ方6	小紋の着付を仕上げる(検定対策)
8	小紋の着せ方7	小紋の着付を仕上げる(検定対策)

9	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
10	検定試験	きもの着付け3級検定（小紋の着付と蝶結び20分）を実施する
11	座学1	着物の名称と用語（プリント12）について 試験結果を通知する
12	浴衣の着方・着せ方	浴衣の着方（自装）と着せ方、半幅帯バリエーションを学び実践する たたみ方テストを実施する
13	小紋と名古屋帯1	お太鼓結びでの普段着（小紋）着付を学び実践する
14	小紋と名古屋帯2	お太鼓結びでの普段着（小紋）着付を学び実践する
15	総合学習	小紋の着付（仕上げ）と総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	着付けⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	着付けⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	教本・お太鼓枕・帯板・伊達締め(2)・腰ベルト・腰ひも(4)・和装スリップ(下着)・クリップ(2)・足袋		出版社	桜花出版 KW	

科目の基礎情報2

授業のねらい	着付に関する知識・技術を身につける。				
到達目標	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることが出来る。 技術の習得目安として、 ・きもの着付け3級(6月強制受験 免許強制) を取得することが出来る。				
評価基準	検定試験：40% テスト：30% 授業態度：30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、一般財団法人京都きもの伝承文化協会 きもの着付け資格				
関連科目	着付けⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	鈴木恭子他5名	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、授業ルールについて、到達目標について、教材小物の説明・記名、考査票の記入、足袋サイズの確認
2	小紋の着せ方1	補整、長襦袢の着せ方、たたみ方を学び実践する
3	小紋の着せ方2	小紋の着付(裾線、衿合せ)、たたみ方を学び実践する
4	小紋の着せ方3	小紋の着付(お端折の作り方)を学び実践する
5	小紋の着せ方4	半幅帯(蝶結び)の結び方を学び実践する 小テスト(着物の名称)を実施する
6	小紋の着せ方5	小紋の着付を仕上げる(検定対策)
7	小紋の着せ方6	小紋の着付を仕上げる(検定対策)
8	小紋の着せ方7	小紋の着付を仕上げる(検定対策)

9	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
10	検定試験	きもの着付け3級検定（小紋の着付と蝶結び20分）を実施する
11	座学1	着物の名称と用語（プリント12）について 試験結果を通知する
12	浴衣の着方・着せ方	浴衣の着方（自装）と着せ方、半幅帯バリエーションを学び実践する たたみ方テストを実施する
13	小紋と名古屋帯1	お太鼓結びでの普段着（小紋）着付を学び実践する
14	小紋と名古屋帯2	お太鼓結びでの普段着（小紋）着付を学び実践する
15	総合学習	小紋の着付（仕上げ）と総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	着付けⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	着付けⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	教本・お太鼓枕・帯板・伊達締め(2)・腰ベルト・腰ひも(4)・和装スリップ(下着)・クリップ(2)・足袋		出版社	桜花出版 KW	

科目の基礎情報2

授業のねらい	着付に関する知識・技術を身につける。				
到達目標	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることが出来る。 技術の習得目安として、 ・きもの着付け2級(12月強制受験 免許任意) を取得することが出来る。				
評価基準	検定試験：40% テスト：30% 授業態度：30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、 一般財団法人京都きもの伝承文化協会 きもの着付け資格				
関連科目	着付けⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	振袖の着せ方1	授業の流れ、到達目標について説明する、考査票の記入、補整、長襦袢の着せ方、振袖の着せ方、たたみ方について学び実践する
2	振袖の着せ方2	袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する
3	振袖の着せ方3	ふくら雀の結び方について学び実践する
4	振袖の着せ方4	振袖の着付を仕上げる(検定対策)
5	振袖の着せ方5	振袖の着付を仕上げる(検定対策)
6	振袖の着せ方6	振袖の着付を仕上げる(検定対策)
7	振袖の着せ方7	振袖の着付を仕上げる(検定対策)
8	振袖の着せ方8	振袖の着付を仕上げる(検定対策)

9	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
10	検定試験	きもの着付け2級検定試験（振袖にふくら雀30分）を実施する
11	座学2	着物のTPO（プリント34）について
12	小紋の着方	小紋の着方 と 名古屋帯のお太鼓結び（自装）を学び実践するまた、着物の立居振舞についても学び実践する
13	留袖の着せ方1	留袖について、留袖の着せ方について学び実践する たたみ方について
14	留袖の着せ方2	二重太鼓の結び方について学び実践する 留袖の仕上げ
15	総合学習	女袴の着せ方と総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	ビューティー接客Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	ビューティー接客Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報2

授業のねらい	ビジネスシーンで使える外国語の基礎と知識を学ぶ・接客に必要な外国語が出来るようになる				
到達目標	自己紹介から、接客に必要な外国語を話すことができ、受け答えができるようになる				
評価基準	テスト50%、授業意欲30%、提出物20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	内田里佐	実務経験	○		
実務内容	日本航空株式会社にて、国際線及び国内線客室乗務員として約20年勤務。企業、マナースクール等において講師、アシスタントとして講座に携わる。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業ルール、授業目的説明
2	自己紹介	英語で自己紹介が出来るように
3	自己紹介	英語で自己紹介が出来るように
4	外国語文化について1	挨拶、リアクション、語学の違い
5	外国語文化について2	挨拶、リアクション、語学の違い
6	外国語文化について3	挨拶、リアクション、語学の違い
7	接客単語1	接客単語、化粧品英語
8	接客単語2テスト	接客単語、化粧品英語
9	カウンセリング1	メイクカウンセリング

10	カウンセリング2	メイクカウンセリング
11	数字、単位、会計	ネイティブが使う数字の読み方、アメリカで使う単位、お会計で使う英文
12	世界での美の基準、違い1	日本とは違う世界での美の基準を知る
13	世界での美の基準、違い2	日本とは違う世界での美の基準を知る
14	海外留学について	海外で活動する方法や違い
15	まとめ	まとめ

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	ビューティー接客Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	ビューティー接客Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報2

授業のねらい	ビジネスシーンで使える外国語の基礎と知識を学ぶ・接客に必要な外国語が出来るようになる				
到達目標	自己紹介から、接客に必要な外国語を話すことができ、受け答えができるようになる				
評価基準	テスト50%、授業意欲30%、提出物20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	流行	海外での流行、英単語など
2	タッチアップ時の会話1	タッチアップ時に使える英文
3	タッチアップ時の会話2	タッチアップ時に使える英文
4	リスニング強化1	ネイティブの発音、略語などを覚える
5	リスニング強化2	ネイティブの発音、略語などを覚える
6	スピーキング強化1	英文を読む、話す
7	スピーキング強化2	英文を読む、話す
8	電話対応1	電話で予約を受ける
9	電話対応2	電話で予約を受ける

10	電話対応3テスト	電話で予約を受ける
11	文書の書き方1	文章・メールのやり取り
12	文書の書き方2	文章・メールのやり取り
13	雑談力1	コミュニケーションの取り方
14	雑談力2	コミュニケーションの取り方
15	まとめ	まとめ

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ビューティーメイク1-E		
必修選択	選択	(学則表記)	ビューティーメイク1-E		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	メイク道具一式		出版社	株式会社ユアサポート	

科目の基礎情報2

授業のねらい	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識委しながら実践を行う				
到達目標	各テーマのメイクテクニックの理解を通じて、トレンド感のあるメイクを施すことができる。				
評価基準	テスト30%、検定取得20%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定アドバイス				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	小林満里子他1名	実務経験	○		
実務内容	メイクアップアーティストとしてビューティーやファッションの広告、雑誌、カタログの撮影				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション アドヴァンス検定詳細説明 対策1	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーション詳細説明・練習
2	アドヴァンス検定対策2	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
3	アドヴァンス検定対策3	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
4	アドヴァンス検定対策4	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
5	アドヴァンス検定対策5	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
6	アドヴァンス検定対策6	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
7	アドヴァンス検定対策7	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
8	アドヴァンス検定対策8	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
9	アドヴァンス検定最終確認	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策

10	パーソナルカラーメイク スプリング	パーソナルカラスプリングタイプのメイク提案・練習を行う
11	パーソナルカラーメイク サマー	パーソナルカラーサマータイプのメイク提案・練習を行う
12	パーソナルカラーメイク オータム	パーソナルカラーオータムタイプのメイク提案・練習を行う
13	パーソナルカラーメイク ウィンター	パーソナルカラーウィンタータイプのメイク提案・練習を行う
14	テスト	パーソナルカラー4タイプの中からモデルに似合うメイクの施術を行う
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ビューティーメイクⅡ-E		
必修選択	選択	(学則表記)	ビューティーメイクⅡ-E		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	メイク道具一式		出版社	株式会社ユアサポート	

科目の基礎情報2

授業のねらい	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識委しながら実践を行う				
到達目標	各テーマのメイクテクニックの理解を通じて、トレンド感のあるメイクを施すことができる。				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ビューティーメイクⅠ-E、ファッションⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション パーソナルトレンドメイク10代	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 10代のトレンドファッション・メイクをリサーチしメイクの提案・練習を行う
2	パーソナルトレンドメイク20代	20代のトレンドファッション・メイクをリサーチしメイクの提案・練習を行う
3	パーソナルトレンドメイク30代	30代のトレンドファッション・メイクをリサーチしメイクの提案・練習を行う
4	パーソナルトレンドメイク40代	40代のトレンドファッション・メイクをリサーチしメイクの提案・練習を行う
5	パーソナルトレンドメイク50代以降	50代以降のトレンドファッション・メイクをリサーチしメイクの提案・練習を行う
6	テスト	パーソナルトレンドメイクのテスト、年齢に合わせたメイクの提案・施術テスト
7	イベントメイク1	各イベント(結婚式お呼ばれ、成人式、クリスマス、バレンタインなど)の提案・練習を行う
8	イベントメイク2	各イベント(結婚式お呼ばれ、成人式、クリスマス、バレンタインなど)の提案・練習を行う
9	イベントメイク3	各イベント(結婚式お呼ばれ、成人式、クリスマス、バレンタインなど)の提案・練習を行う

10	イベントメイク4	各イベント(結婚式お呼ばれ、成人式、クリスマス、バレンタインなど)の提案・練習を行う
11	職業別メイク1	姉妹校分野を参考に職業別のメイク提案・練習を行う
12	職業別メイク2	姉妹校分野を参考に職業別のメイク提案・練習を行う
13	職業別メイク3	姉妹校分野を参考に職業別のメイク提案・練習を行う
14	職業別メイク4	姉妹校分野を参考に職業別のメイク提案・練習を行う
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ブランドリサーチⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ブランドリサーチⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式		出版社	株式会社ユアサポート	

科目の基礎情報2

授業のねらい	化粧品のブランドについての知識を研究し実践力を身につける				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・メイクの業界で求められる化粧品のブランドについての知識を説明できるようにする ・化粧品ブランドと有名な製品を理解する ・ブランドの特長を理解し、各ブランドの違いを知る 				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	カウンセリングⅠ、カウンセリングⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	石川 恵理	実務経験		○	
実務内容	某化粧品会社勤務中、チーフ・新人教育を経験後、ブランドトレーナーに就任。全国の販売員トレーニングを行う。退職後フリーランスとして活動。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 化粧品ブランドの種類	授業の目的目標、評価基準、授業ルール どのようなブランドがあるのか
2	国産ブランド1	資生堂について（歴史・有名なアイテム 等） 資生堂の傘下ブランドを知る
3	国産ブランド2	花王・コーセー化粧品（歴史・有名なアイテム 等） 花王・コーセー化粧品の傘下ブランドを知る
4	国産ブランド3	その他国産ブランド（ピアス 等）
5	外資系ブランド1	ELCジャパン・LVMH（歴史・有名なアイテム 等） ELCジャパン・LVMHの傘下ブランドを知る
6	外資系ブランド2	ロレアル（歴史・有名なアイテム 等） ロレアルの傘下ブランドを知る
7	外資系ブランド3	その他外資系ブランド（シャネル・マリークワント・クラランス等）
8	セミセルフブランド	FGJ・イセタンミラー・@コスメ 等 セミセルフブランドの特徴を知る 取り扱い製品の違いを知る

9	スキンケアアイテム	スキンケアの有名なアイテムを知る スキンケアの最新のアイテムを知る
10	メイクアイテム	メイクアイテムの有名なアイテムを知る メイクアイテムの最新のアイテムを知る
11	デパートコスメ	高級ブランドの特長を知る
12	プチプライスコスメ	プチプライスコスメの特長を知る
13	上半期ベストコスメ	上半期ベストコスメのアイテムを知る どのような特長があるかを研究する
14	テスト	テストを実施する
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ブランドリサーチⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ブランドリサーチⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式		出版社	株式会社ユアサポート	

科目の基礎情報2

授業のねらい	化粧品のブランドについての知識を研究し実践力を身につける。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・メイクの業界で求められる化粧品のブランドについての知識を研究し実践力を身につける ・化粧品ブランドと有名な製品を理解する ・ブランドの特長を理解し、各ブランドの違いを知る 				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	カウンセリングⅠ、カウンセリングⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 化粧品ブランドの種類	授業の目的目標、評価基準、授業ルール どのようなブランドがあるのか
2	フレグランス基礎知識	フレグランスの基礎知識を知る
3	フレグランスブランド	フレグランスの有名なアイテムを知る フレグランスが有名なブランドを知る
4	韓国コスメ スキンケア編	韓国コスメの有名なスキンケアブランドを知る
5	韓国コスメ メイクアップ編1	韓国コスメの有名なメイクブランドを知る
6	ボディケア・ヘアケアブランド1	ボディケア・ヘアケアブランドを知る ボディケア・ヘアケアブランドの特長を知る
7	ボディケア・ヘアケアブランド2	ボディケア・ヘアケアブランドを知る ボディケア・ヘアケアブランドの特長を知る
8	メンズブランド	メンズ化粧品ブランドを知る メンズ化粧品の特長を知る

9	オーガニック化粧品	オーガニック化粧品について知る
10	オーガニックブランド1	有名なオーガニックブランドを知る
11	オーガニックブランド2	有名なオーガニックブランドを知る
12	ブランドマップ	ブランドの特長をまとめる
13	下半期ベストコスメ	下半期ベストコスメのアイテムを知る どのような特長があるかを研究する
14	テスト	テストを実施する
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	カウンセリングⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	カウンセリングⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	日本化粧品検定準2級・3級テキスト、2級テキスト 2級問題集		出版社	主婦の友社	

科目の基礎情報2

授業のねらい	化粧品販売員として必要な知識を身に付ける				
到達目標	化粧品販売員として必要な化粧品や皮膚構造の知識、肌悩みに合わせた化粧品選びとメイクアップテクニック、生活習慣の知識を身に付け、日本化粧品検定3級、2級を取得する。				
評価基準	検定3級：10% 検定2級：30% 小テスト：20% 提出物：20% 意欲：20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	日本化粧品検定2級・3級				
関連科目	カウンセリングⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	原田知子	実務経験		○	
実務内容	某化粧品会社にて美容部員として勤務。店舗運営、新人教育指導などに携わる。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 3級対策1	授業の流れ、到達目標について、検定について理解する まちがえがちな美容知識について学ぶ1
2	3級対策2	まちがえがちな美容知識について学ぶ2
3	3級検定実施	授業内で3級を受験する
4	2級対策1	皮膚の構造、皮膚のしくみと働きについて学ぶ
5	2級対策2 小テスト1	皮膚の構造、皮膚のしくみと働き、皮膚の機能について学ぶ ここまでの範囲の小テストを実施する
6	2級対策3	肌悩みの原因とお手入れについて学ぶ（乾燥、尋常性挫創）
7	2級対策4	肌悩みの原因とお手入れについて学ぶ（毛穴、しみ、くすみ）
8	2級対策5 小テスト2	肌悩みの原因とお手入れについて学ぶ（くま、しわ・たるみ） 6回目以降の範囲の小テストを実施する
9	2級対策6	メイクアップの基本テクニック、肌悩みに応じた化粧品の使い方を学ぶ

10	2級対策7	肌を劣化させる要因について学ぶ
11	2級対策8	紫外線が肌に与える影響について学ぶ
12	2級対策9	効果的なマッサージの必要性と方法、美しい肌をつくる生活習慣について学ぶ
13	2級模試1	2級模試を実施する
14	2級模試2	2級模試を実施する
15	2級受験	授業内で2級を受験する

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	カウンセリングⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	カウンセリングⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	日本化粧品検定準2級・3級テキスト、2級テキスト		出版社	主婦の友社	

科目の基礎情報2

授業のねらい	化粧品販売員として必要な知識、技術を身に付ける				
到達目標	化粧品販売員として必要な化粧品や皮膚構造の知識、肌悩みに合わせた化粧品選びとメイクアップテクニック、生活習慣の知識を身に付け、日本化粧品検定1級を任意で受験する。 化粧品販売員として必要な立ち居振る舞いやカウンセリング販売の知識を身に付ける。				
評価基準	テスト：60% 提出物：20% 意欲：20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	日本化粧品検定1級（任意）				
関連科目	カウンセリングⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1級試験対策1	化粧品の歴史、スキンケア化粧品の原料と基礎知識について学ぶ
2	1級試験対策2	メイクアップ化粧品の原料と基礎知識について学ぶ
3	1級試験対策3	化粧品にまつわる効能や表示のルールを学ぶ
4	カウンセリング販売の基本	お客様とコミュニケーションをとり、悩みに対する最適な解決策と商品を提案する方法を学ぶ
5	年代別カウンセリング販売1	10～20代の肌悩みに合わせたメイクとスキンケアアイテムのカウンセリング販売方法を学ぶ
6	年代別カウンセリング販売2	30～40代の肌悩みに合わせたメイクとスキンケアアイテムのカウンセリング販売方法を学ぶ
7	年代別カウンセリング販売3	50～60代の肌悩みに合わせたメイクとスキンケアアイテムのカウンセリング販売方法を学ぶ
8	スキンケアブランドタッチアップ	スキンケアブランドのタッチアップ方法を身に付ける

9	メイクブランドタッチアップ	メイクブランドのタッチアップ方法を身に付ける
10	タッチアップトレーニング1 実技テスト1	アイメイククレンジングとアイメイクリタッチをタイムアタックで実施する 化粧品販売員とお客様役のロールプレイング形式で実技テストとして行う
11	タッチアップトレーニング2 実技テスト2	ベースメイククレンジングとベースメイクリタッチをタイムアタックで実施する 化粧品販売員とお客様役のロールプレイング形式で実技テストとして行う
12	タッチアップトレーニング3 実技テスト3	クレンジングからフルメイクをタイムアタックで実施する 化粧品販売員とお客様役のロールプレイング形式で実技テストとして行う
13	SNSを活用した販促	インスタグラム、TikTokなどのSNS広告を作成する
14	ビジュアルマーチャンダイジング	百貨店、化粧品専門店等でのビジュアルマーチャンダイジング（店頭ディスプレイ）を学ぶ
15	販促コンテスト	SNSとビジュアルマーチャンダイジングの販促コンテストを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	クリエイティブヘアメイクⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	クリエイティブヘアメイクⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式 ヘアアレンジ道具一式、ヘアアレンジデジタルテキスト		出版社	株式会社ユアサポート	

科目の基礎情報2

授業のねらい	ショーや撮影など様々な場面で施すヘアメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする				
到達目標	トレンド・年代別・ショーヘアメイク・スチール撮影(フォトコンテスト)に必要なヘアメイク技術と知識を身に付ける 様々なヘアメイクが出来る様に、発想力・表現力を身に付ける				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	得丸 瑞穂他1名	実務経験		○	
実務内容	イベント、スチール撮影、映像、舞台、ブライダル等のヘアメイク経験				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1年次復習	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 1年次復習(ピン・ホットカーラー・ヘアアイロンなど)/振り返り
2	テーマに合わせたヘアスタイル1	テーマに合わせて展開図を作りヘアスタイルを考える(導入・練習)
3	テーマに合わせたヘアスタイル2	テーマに合わせて展開図を作りヘアスタイルを考える(練習)
4	テーマに合わせたヘアスタイル3	テーマに合わせて展開図を作りヘアスタイルを考える(ミニテスト・振り返り)
5	土台の作り方 逆毛の立て方・すき毛の使用	土台(導入・練習) 逆毛・すき毛(導入・練習)
6	夜会巻1	夜会巻・本夜会(導入・練習)
7	夜会巻2	夜会巻・本夜会(練習)
8	夜会巻3	重ね夜会・本夜会(ミニテスト・振り返り)

9	洋装1	ブライダルメイクの基本(ベースメイク)
10	洋装2	ブライダルメイクの基本(ポイントメイク)
11	洋装3	ブライダルメイクの基本(お色直し・ドレス別)
12	洋装4	テスト、振り返り
13	和装・洋装スタイル1	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
14	和装・洋装スタイル2	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	クリエイティブヘアメイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	クリエイティブヘアメイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式 ヘアアレンジ道具一式、ヘアアレンジデジタルテキスト		出版社	株式会社ユアサポート	

科目の基礎情報2

授業のねらい	ショーや撮影など様々な場面で施すヘアメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする				
到達目標	トレンド・年代別・ショーヘアメイク・スチール撮影(フォトコンテスト)に必要なヘアメイク技術と知識を身に付ける 様々なヘアメイクが出来る様に、発想力・表現力を身に付ける				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	和装・洋装スタイル1	前期の振り返りを含めトレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
2	和装・洋装スタイル2	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
3	和装・洋装スタイル3	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
4	メイクの歴史	古代～中世～近代のメイクについて (時代背景や特徴について)
5	年代別のメイク1	年代別 50
6	年代別のメイク2	年代別 70、80
7	年代別のメイク3	年代別 90、2000
8	年代別のメイク4	年代別の技術まとめ テスト、振り返り

9	卒業制作1	卒業制作(実践)
10	卒業制作2	卒業制作(実践)
11	卒業制作3	卒業制作(実践)
12	卒業制作4	卒業制作(実践)
13	卒業制作5	卒業制作(実践)
14	卒業制作6	卒業制作(実践、振り返り)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	ファッションⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ファッションⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	スマホアプリ(VOGUE RUNWAY等)、 雑誌 (VOGUE/MODE ET MODE 等) 共通⇒筆記用具・ノート…ファイル		出版社	なし	

科目の基礎情報2

授業のねらい	ファッションとメイクについての関連性・傾向・知識を知り知識を深める				
到達目標	トレンドやファッションの知識を深める/ファッションとメイクアップの関連性を知る				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ブランドリサーチⅠ、クリエイティブヘアメイクⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	比企 恵美子	実務経験		○	
実務内容	美容学校卒業後、都内サロンに勤務。メイク事務所、フォトスタジオを経て2001年よりフリーランスとして活動。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション メイクとの関連について	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認 メイクとファッションの繋がり
2	服の歴史について1	服の成り立ち(古代～中世)
3	服の歴史について2	服の成り立ち(中世～近代)
4	服の歴史について3	服の成り立ち(中世～近代)
5	服の歴史について4	服の成り立ち(中世～近代)
6	コレクションについて1	コレクション開催4都市について コレクションの歴史
7	コレクションについて2	コレクションブランドについて (シーズンサイクルなど)
8	コレクションについて3	オートクチュール

9	コレクションについて4	プレタポルテ(レディース・メンズ)
10	コレクションについて5	コレクションの歴史と開催都市等のまとめテスト
11	トレンドについて1	雑誌、SNSの見方と情報収集
12	テスト	テスト
13	トレンドについて2	トレンド研究を行う
14	トレンドについて3	トレンド研究を行う (ペアまたはグループ発表)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	ファッションⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ファッションⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	スマホアプリ(VOGUE RUNWAY等)、 雑誌 (VOGUE/MODE ET MODE 等) 共通⇒筆記用具・ノート…ファイル		出版社	なし	

科目の基礎情報2

授業のねらい	ファッションとメイクについての関連性・傾向・知識を知り知識を深める				
到達目標	トレンドやファッションの知識を深める/ファッションとメイクアップの関連性を知る				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ブランドリサーチⅠⅡ、クリエイティブヘアメイクⅠⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション メイクとの関連について	授業の目的目標、評価基準、授業ルール メイクとファッションの繋がり
2	ファッションデザイナー1	雑誌・SNSを使いデザイナーのトレンドを調べる
3	ファッションデザイナー2	雑誌・SNSを使いデザイナーのトレンドを調べる
4	ファッションから見るメイクの分析1	ファッションごとのメイクを分析する (ワークシートでグループワークを行い発表)
5	ファッションから見るメイクの分析2	ファッションごとのメイクを分析する (ワークシートでグループワークを行い発表)
6	ファッションから見るメイクの分析3	ファッションごとのメイクを分析する (ワークシートでグループワークを行い発表)
7	ファッションから見るメイクの分析4	ファッションごとのメイクを分析する (ワークシートでグループワークを行い発表)
8	ファッションから見るメイクの分析5	ファッションごとのメイクを分析する (ワークシートでグループワークを行い発表)

9	コンセプトシート作成	発表されたコレクションを模写もしくはアレンジし、デザイン画（コンセプトシートの作成）
10	コンセプトシート作成	発表されたコレクションを模写もしくはアレンジし、デザイン画（コンセプトシートの作成）
11	テスト	テスト
12	ブランドプロデュース	今までの学習を活かして自分のブランドを作る
13	ブランドプロデュース	今までの学習を活かして自分のブランドを作る
14	ブランド発表	自分のブランドを発表
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	実技	科目名	サロンワークI-H		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワークI-H		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	メイク道具一式		出版社	株式会社ユアサポート	

科目の基礎情報2

授業のねらい	マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学びサロン運営を行う				
到達目標	現場実践を積み、接客力を身に付ける コミュニケーション力を身に付ける				
評価基準	レポート(テスト対応の場合有)50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ビューティーメイクI				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	井上友梨香他2名	実務経験	○		
実務内容	百貨店にて外資化粧品ブランドに7年勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	サロンワーク導入	自己紹介・授業目的・目標・ゴール・評価基準について
2	1年次復習	施術確認
3	サロンワーク技術練習	モデラー作り(業界研究) 悩み改善メイク
4	サロンワーク技術練習	店舗作成に向けて 売上・原価・利益・収入・支出の理解 要望メイク
5	サロンワーク技術練習	サロンマナー・クレーム対応について カウンセリングについて カウンセリングメイク
6	サロンワーク技術練習・テスト	テスト・要望メイクORカウンセリングメイク
7	サロンワーク技術練習	Bショー

8	サロンワーク技術練習	Bショー
9	サロンワーク技術練習	模擬サロン作成 グループ決め・コンセプト・メニュー・サロン・名刺・フライヤー作成 メニュー技術練習
10	サロンワーク技術練習	模擬サロン作成 グループ決め・コンセプト・メニュー・サロン・名刺・フライヤー作成 メニュー技術練習
11	サロンワーク技術練習	模擬サロン作成 グループ決め・コンセプト・メニュー・サロン・名刺・フライヤー作成 メニュー技術練習
12	サロンワーク技術練習・テスト	テスト・メニューメイク
13	サロンワーク技術練習	模擬サロンへ向けての準備
14	サロンワーク技術練習	模擬サロン
15	振り返り・総合授業	振り返り・総合授業

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	実技	科目名	サロンワークⅡ-H		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワークⅡ-H		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	メイク道具一式		出版社	株式会社ユアサポート	

科目の基礎情報2

授業のねらい	マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学びサロン運営を行う				
到達目標	現場実践を積み、接客力を身に付ける コミュニケーション力を身に付ける				
評価基準	レポート(テスト対応の場合有)50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ビューティーメイクⅠⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	サロンワーク導入	様々なシュチュエーションや 施術内容を設定し、サロンワーク としての技術・接客を シュミレーションとして行う 施術時間・用具の管理・接客対応 ・言葉遣い・イレギュラーな対応方法など 様々な視点からチェックしていく
2	サロンワーク技術練習	
3	サロンワーク技術練習	
4	サロンワーク技術練習	
5	サロンワーク技術練習	
6	サロンワーク技術練習・テスト	

7	サロンワーク技術練習	<p>基本的には外部の方をお客様として招き サロンを運営することを目的とする 相モデルなど工夫して授業を進める</p> <p>サロンメニューやアートデザインだけではなく、 集客方法やフライヤー作成など すべての運営を生徒たちに考えさせていく</p> <p>Bショーの内容を授業で行い「美」を通す人を魅了することへの表現力を身につける</p>
8	サロンワーク技術練習	
9	サロンワーク技術練習	
10	サロンワーク技術練習	
11	サロンワーク技術練習	
12	サロンワーク技術練習・テスト	
13	サロンワーク技術練習	
14	サロンワーク技術練習	
15	振り返り・総合授業	

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ビューティーメイクⅠ-F		
必修選択	選択	(学則表記)	ビューティーメイクⅠ-F		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	メイク道具一式		出版社	株式会社ユアサポート	

科目の基礎情報2

授業のねらい	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識委しながら実践を行う				
到達目標	各テーマのメイクテクニックの理解を通じて、トレンド感のあるメイクを施すことができる。				
評価基準	テスト30%、検定取得20%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定アドバイス				
関連科目	ビューティーメイクⅡ、カラーコーディネートⅠ・Ⅱ、ファッションⅠ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	小林満里子	実務経験		○	
実務内容	メイクアップアーティストとしてビューティーやファッションの広告、雑誌、カタログの撮影				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション アドヴァンス検定詳細説明 対策1	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーション詳細説明・練習
2	アドヴァンス検定対策2	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
3	アドヴァンス検定対策3	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
4	アドヴァンス検定対策4	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
5	アドヴァンス検定対策5	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
6	アドヴァンス検定対策6	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
7	アドヴァンス検定対策7	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
8	アドヴァンス検定対策8	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
9	アドヴァンス検定最終確認	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策

10	パーソナルカラーメイク スプリング	パーソナルカラスプリングタイプのメイク提案・練習を行う
11	パーソナルカラーメイク サマー	パーソナルカラーサマータイプのメイク提案・練習を行う
12	パーソナルカラーメイク オータム	パーソナルカラーオータムタイプのメイク提案・練習を行う
13	パーソナルカラーメイク ウィンター	パーソナルカラーウィンタータイプのメイク提案・練習を行う
14	テスト	パーソナルカラー4タイプの中からモデルに似合うメイクの施術を行う
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ビューティーメイクⅡ-F		
必修選択	選択	(学則表記)	ビューティーメイクⅡ-F		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	メイク道具一式		出版社	株式会社ユアサポート	

科目の基礎情報2

授業のねらい	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識委しながら実践を行う				
到達目標	各テーマのメイクテクニックの理解を通じて、トレンド感のあるメイクを施すことができる。				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ビューティーメイクⅠ-F、ファッションⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション パーソナルトレンドメイク10代	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 10代のトレンドファッション・メイクをリサーチしメイクのデッサンシートを作成
2	パーソナルトレンドメイク10代	10代のトレンドメイクを相モデルにて練習を行う
3	パーソナルトレンドメイク20代	20代のトレンドファッション・メイクをリサーチしメイクのデッサンシートを作成
4	パーソナルトレンドメイク20代	20代のトレンドメイクを相モデルにて練習を行う
5	パーソナルトレンドメイク30代	30代のトレンドファッション・メイクをリサーチしメイクのデッサンシートを作成
6	パーソナルトレンドメイク30代	30代のトレンドメイクを相モデルにて練習を行う
7	パーソナルトレンドメイク40代	40代のトレンドファッション・メイクをリサーチしメイクのデッサンシートを作成
8	パーソナルトレンドメイク40代	40代のトレンドメイクを相モデルにて練習を行う
9	パーソナルトレンドメイク50代以上	50代以上のトレンドファッション・メイクをリサーチしメイクのデッサンシートを作成

10	パーソナルトレンドメイク50代以上	50代以上のトレンドメイクを相モデルにて練習を行う
11	テスト	パーソナルトレンドメイクのテスト、年齢に合わせたメイクの提案・施術テスト
12	イベントメイク1	各イベント(結婚式お呼ばれ、成人式、クリスマス、バレンタインなど)の提案・練習を行う
13	イベントメイク2	各イベント(結婚式お呼ばれ、成人式、クリスマス、バレンタインなど)の提案・練習を行う
14	イベントメイク3	各イベント(結婚式お呼ばれ、成人式、クリスマス、バレンタインなど)の提案・練習を行う
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	スチールヘアメイクⅠ（ファッションを含む）		
必修選択	選択	（学則表記）	スチールヘアメイクⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式・カメラ機材		出版社	株式会社ユアサポート	

科目の基礎情報2

授業のねらい	スチールヘアメイクの技術を学び実践できるようにする				
到達目標	作品をイメージして形にすることができるようになる。作品全体を意識したトータルコーディネートができるようになる。メイクの応用力を身につけ、技術の幅を広げる。写真の映えさせ方やそのためのヘアメイクを学ぶ。				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上あるもの 成績評価が2以上のもの				
関連資格	メイクアップ検定アドバイス				
関連科目	ヘアアレンジⅡ、サロンワーク				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	西田 美香	実務経験	○		
実務内容	フリーランスヘアメイクアップアーティスト 映画・広告・TV・雑誌・ショー等の経験あり、様々な現場で活動				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション スチールヘアメイクとは	オリエンテーション（スチールヘアメイクの流れ・作品撮影・ヘアメイク連動について） 授業の目的目標、評価基準、授業ルール
2	白バック紙にての撮影ヘアメイク1	白いバック紙で光源の違いによるヘアメイクの仕上がりを学ぶ
3	白バック紙にての撮影ヘアメイク2	白いバック紙で光源の違いによるヘアメイクの仕上がりを学ぶ。バック紙に合わせてテーマ設定をし作品撮影を行う
4	白バック紙にての撮影ヘアメイク3	白いバック紙で光源の違いによるヘアメイクの仕上がりを学ぶ。バック紙に合わせてテーマ設定をし作品撮影を行う
5	黒バック紙にての撮影ヘアメイク1	黒いバック紙で光源の違いによるヘアメイクの仕上がりを学ぶ
6	黒バック紙にての撮影ヘアメイク2	黒いバック紙で光源の違いによるヘアメイクの仕上がりを学ぶ。バック紙に合わせてテーマ設定をし作品撮影を行う
7	黒バック紙にての撮影ヘアメイク3	黒いバック紙で光源の違いによるヘアメイクの仕上がりを学ぶ。バック紙に合わせてテーマ設定をし作品撮影を行う
8	時代に合わせたファッションやヘアメイク	昔の流行から今年の流行のファッションやヘアメイクを学ぶ
9	アイメイクフォト～顔周りヘアスタイル	アイメイクを仕上げ、アイメイクが際立つ顔周りのヘアを考える

10	リップフォト～小物使い	リップを強調したメイク考え、小物とのバランスを考える
11	作品イメージの構築1	撮影に向けて、テーマをもとに自分の作品を考えてみる
12	作品イメージの構築2	前回考えたデザインを施してみる
13	作品制作1	テスト ヘアメイクを仕上げ、ライティングやバック紙を考え作品制作を行う
14	作品制作2	テスト ヘアメイクを仕上げ、ライティングやバック紙を考え作品制作を行う
15	総合授業	前期授業振り返り、作品制作の取り組みやヘアメイクの仕上がりを発表。

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	スチールヘアメイクII (ファッションを含む)		
必修選択	選択	(学則表記)	スチールヘアメイクII		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式・カメラ機材		出版社	株式会社ユアサポート	

科目の基礎情報2

授業のねらい	スチールヘアメイクの技術を学び実践できるようにする				
到達目標	作品をイメージして形にすることができるようになる。作品全体を意識したトータルコーディネートができるようになる。メイクの応用力を身につけ、技術の幅を広げる。写真の映えさせ方やそのためのヘアメイクを学ぶ。				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上あるもの 成績評価が2以上のもの				
関連資格	メイクアップ検定アドバイス				
関連科目	ヘアアレンジII、サロンワーク				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	7つのファッションスタイル	好きなファッション、似合うファッションを考える
2	模写メイク1	雑誌の1ページのようにそっくりそのまま模写メイクを行う。
3	模写メイク2	デッサンシート完成、ヘアメイク練習
4	模写メイク3	相モデルで模写メイクから撮影まで行う
5	模写メイク4	相モデルで模写メイクから撮影まで行う
6	模写メイク5	コラージュ作成、発表
7	フォトセッション1	デッサンシートの作成 デッサンシートに基づいたヘアメイク実践
8	フォトセッション2	デッサンシートの作成 デッサンシートに基づいたヘアメイク実践
9	フォトセッション3	テーマに基づいたヘアメイク実践から撮影

10	フォトセッション4	テーマに基づいたヘアメイク実践から撮影
11	卒業制作1	卒業制作（導入、実践）
12	卒業制作2	卒業制作（実践）
13	卒業制作3	卒業制作（実践）
14	卒業制作4	卒業制作（実践、振り返り）
15	総合授業	前期授業振り返り、作品制作の取り組みやヘアメイクの仕上がりを発表。

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ヘアアレンジⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ヘアアレンジⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	ヘアアレンジ道具一式、ヘアアレンジデジタルテキスト		出版社	株式会社LenS creative	

科目の基礎情報2

授業のねらい	1年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする				
到達目標	様々なスタイル技術を習得する お客様のオーダー通りにヘアスタイルの展開図を理解する				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定アドバイス				
関連科目	アーティストメイクⅠⅡ、ブライダルメイクⅠⅡ、スチールヘアメイクⅠⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	神戸瑞穂	実務経験		○	
実務内容	横浜市内でサロン現場経験を積み、現在開業して自身のサロンで施術を行う				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1年次復習	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 1年次復習(ピン・ホットカーラーなど)/振り返り
2	土台の作り方 逆毛の立て方・すき毛の使用	土台(導入・練習) 逆毛・すき毛(導入・練習)
3	夜会巻1	夜会巻(導入・練習)
4	夜会巻2	夜会巻(練習)
5	夜会巻3	本夜会(導入・練習)
6	夜会巻4	本夜会(導入・練習)
7	夜会巻5	重ね夜会・本夜会(テスト・振り返り)
8	テーマに合わせたスタイル1	テーマに合わせて展開図を作りスタイルを考える(導入・練習)
9	テーマに合わせたスタイル2	テーマに合わせて展開図を作りスタイルを考える(練習)

10	テーマに合わせたスタイル3	テーマに合わせて展開図を作りスタイルを考える(テスト・振り返り)
11	洋装スタイル1	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
12	洋装スタイル2	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
13	洋装スタイル3	カールアップスタイル作り(導入・練習)
14	洋装スタイル4	カールアップスタイル作り(練習)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ヘアアレンジⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	ヘアアレンジⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	ヘアアレンジ道具一式、ヘアアレンジデジタルテキスト		出版社	株式会社LenS creative	

科目の基礎情報2

授業のねらい	1年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする				
到達目標	様々なスタイル技術を習得する お客様のオーダー通りにヘアスタイルの展開図を理解する				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定アドバイス				
関連科目	アーティストメイクⅠⅡ、ブライダルメイクⅠⅡ、スチールヘアメイクⅠⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	新日本髪1	授業の目的目標、評価基準、授業ルールの再確認 新日本髪(導入・練習)
2	新日本髪2	新日本髪(練習)
3	新日本髪3	新日本髪(練習)
4	新日本髪4	新日本髪(テスト・振り返り)
5	和装スタイル1	和装シーン、テーマに合わせて和装スタイル作成(展開図含む)
6	和装スタイル2	和装シーン、テーマに合わせて和装スタイル作成(展開図含む)
7	和装スタイル3	和装シーン、テーマに合わせて和装スタイル作成(展開図含む)
8	パーティースタイル1	イメージ、シーン、テーマに合わせてスタイル作成(展開図含む)
9	パーティースタイル2	イメージ、シーン、テーマに合わせてスタイル作成(展開図含む)

10	アレンジスタイル1	イメージ、シーン、テーマに合わせてスタイル作成(展開図含む)
11	アレンジスタイル2	イメージ、シーン、テーマに合わせてスタイル作成(展開図含む)
12	卒業制作1	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)
13	卒業制作2	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)
14	卒業制作3	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	ビューティーカウンセラーメイクⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ビューティーカウンセラーメイクⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	メイク道具一式、ブランドコスメ メイクアップテキストアドヴァンス（デジタルテキスト） 化粧品検定協会テキスト		出版社	ユアサポート 主婦の友社	

科目の基礎情報2

授業のねらい	イメージに合わせたポイントメイク技術を学び、イメージを意識したメイク技術を実践する スキンケア・スキンケア対処方接客についてを習得する				
到達目標	各テーマのメイクテクニックの理解を通じて、人物に合うメイクを施すことができる スキンケアの基礎知識を深めお客様の悩みお解消できるよになる				
評価基準	テスト30%、検定取得20%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイク検定アドヴァンス、日本化粧品検定3級・2級				
関連科目	ビューティーカウンセラーメイクⅡ、サロンワークⅠ-E、サロンワークⅡ-E				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション アドヴァンス検定詳細説明/対策1	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの詳細説明/練習
2	アドヴァンス検定対策2	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
3	アドヴァンス検定対策3	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
4	アドヴァンス検定対策4	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
5	アドヴァンス検定対策5	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
6	アドヴァンス検定対策6	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
7	アドヴァンス検定対策7	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
8	アドヴァンス検定対策8	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策

9	化粧品検定級対策1 間違いな美容知識をチェック	1年次復習
10	化粧品検定級対策2 皮膚・肌について知ろう	皮膚の構造～皮膚の機能(大項目)
11	化粧品検定級対策3 肌の手入れと正しい知識	メイクアップの基本テクニック～肌悩みに応じた化粧品の使い方(大項目)
12	化粧品検定級対策4 肌の手入れと正しい知識	肌タイプと見分け方～肌悩みに原因とお手入れ(大項目)
13	化粧品検定級対策5 美肌・美ボディ生活を送るには	肌を劣化させるさまざまな要因～美しい肌を作る生活習慣(大項目)
14	化粧品検定級対策6 復習	化粧品検定2級受験に向けての復習
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	ビューティーカウンセラーメイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ビューティーカウンセラーメイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	メイク道具一式、ブランドコスメ メイクアップテキストアドヴァンス（デジタルテキスト） 化粧品検定協会テキスト		出版社	ユアサポート 主婦の友社	

科目の基礎情報2

授業のねらい	イメージに合わせたポイントメイク技術を学び、イメージを意識したメイク技術を実践する スキンケア・スキンケア対処方接客についてを習得する				
到達目標	各テーマのメイクテクニックの理解を通じて、人物に合うメイクを施すことができる スキンケアの基礎知識を深めお客様の悩みお解消できるよになる				
評価基準	テスト30%、検定取得20%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイク検定アドヴァンス				
関連科目	ビューティーカウンセラーメイクⅠ、サロンワークⅠ-E、サロンワークⅡ-E				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の目的目標、評価基準、授業ルール
2	BCの仕事、百貨店とは・化粧品メーカーの組織・身だしなみについて	意識付け/ハンドデモを入れた一連の接客デモンストレーション ※各校判断で企業とタイアップ
3	製品特徴・アプローチ法	各カテゴリーごとの製品の役割、種類、特徴、メリットデメリット、選ぶ基準等
4	化粧品と法律（医薬部外品等）、化粧品の定義、成分表示	ナチュラルコスメとオーガニックコスメの違いなども含め興味を持たせる
5	カウンセリングの流れ・ロープレ	カウンセリングの流れを確認
6	接客について、おもてなしの心、クレーム、スキンケア	接客する際の注意点、おもてなしとは、クレームの事例対処 肌の仕組みを学ぶ、季節ごとの肌変化
7	世代に合わせたカウンセリング メイクテクニック	世代別の肌悩みを知る メイクアップのアドバイスの仕方を学ぶ
8	世代に合わせたカウンセリング メイクテクニック	世代に合わせたメイクアップの提案

9	世代に合わせたカウンセリング メイクテクニック	世代に合わせたメイクアップの提案
10	メイクアップ動画作成、動画SNS作成 オンラインによるカウンセリングについて1	オンラインで行う際のお客様へ商品のご提案
11	メイクアップ動画作成、動画SNS作成 オンラインによるカウンセリングについて2	商品をPRする方法(写真映え、加工、キャッチコピー)
12	メイクアップ動画作成、動画SNS作成 オンラインによるカウンセリングについて3	商品をPRする方法(写真映え、加工、キャッチコピー)、SNS投稿検証
13	メイクアップ動画作成、動画SNS作成 オンラインによるカウンセリングについて4	オンラインでカウンセリングを行う時に対応方法 カウンセリングの方法
14	総復習	テスト、振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ブライダルメイクⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルメイクⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式、ヘアアレンジ道具一式、 ブライダル雑誌		出版社	株式会社ユアサポート	

科目の基礎情報2

授業のねらい	ブライダルのシーンに合ったメイク技術を学ぶ。 現場を意識した技術を出れるようになる				
到達目標	ブライダルメイクの基礎を理解し実践でできるようになる				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定アドバイス				
関連科目	ヘアアレンジⅡⅢ、サロンワークⅠ-E、サロンワークⅡ-E				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	藤江 奈緒美	実務経験		○	
実務内容	美容室勤務ののち、ヘアメイクに転職。広告、雑誌、ブライダルの撮影などで活動。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 基本知識	授業の目的目標、評価基準、授業ルール ブライダルプランニング、ヘアメイクの仕事、衣装の種類
2	ブライダル概論・基礎知識・コラージュ作成	挙式の種類・挙式と披露宴会場とスタイル・ブライダル用語
3	洋装1	ブライダルメイクの基本(ベースメイク)
4	洋装2	ブライダルメイクの基本(ポイントメイク)
5	洋装3	ブライダルメイクの基本(ドレス別)
6	洋装4	お色直しの方法、ヘア概論
7	洋装5	テスト、振り返り
8	ゲストメイク1	ドレス別ヘアメイク
9	ゲストメイク2	お母様 黒留袖メイク

10	白ドレス～色ドレス～までの流れ	*ドレス補正ポイントメイキング&インナーについて(導入、実践)
11	お色直しの基本知識	和装 →洋装 一連の流れの実習 (導入、実践)
12	ゲストヘアメイク	シーンに応じたヘアメイク (導入、実践)
13	着物ヘアメイク1	着物スタイル
14	着物ヘアメイク2	理論・着物別・年齢別のメイク
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ブライダルメイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルメイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式、ヘアアレンジ道具一式、 ブライダル雑誌		出版社	株式会社ユアサポート	

科目の基礎情報2

授業のねらい	ブライダルのシーンに合ったメイク技術を学ぶ。 現場を意識した技術を出れるようになる				
到達目標	ブライダルメイクの基礎を理解し実践でできるようになる				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定アドバイス				
関連科目	ヘアアレンジⅡⅢ、サロンワークⅠ-E、サロンワークⅡ-E				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	石橋 愛 他2名	実務経験	○		
実務内容	ブライダルヘアメイクアップアーティストとして長年勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	和装1	基礎知識(歴史、かつら、専門用語)
2	和装2	白無垢化粧の練習を入れる
3	和装3	色打掛・引き振袖(黒)
4	和装4	色打掛・引き振袖(黒)
5	和装5	白無垢化粧
6	和装6	白無垢化粧
7	七五三ヘアメイク	七五三の歴史・由来・小物・着物
8	パーティーヘアメイク	シーンに応じたヘアメイク
9	テスト	テスト、振り返り

10	卒業制作1	卒業制作(導入、実践)
11	卒業制作2	卒業制作(実践)
12	卒業制作3	卒業制作(実践)
13	卒業制作4	卒業制作
14	卒業制作5	卒業制作(実践、振り返り)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	特殊メイクⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	特殊メイクⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式・エアブラシ道具・ボディージュエリー道具、その他特殊用品等		出版社	株式会社ユアサポート	

科目の基礎情報2

授業のねらい	ボディアート、傷メイクなど特化したシーンで活用できる特殊メイク技術を学び実践できるようにする				
到達目標	特殊メイクを通じて、メイクの知識を深める メイクの応用力を身に付け技術の幅を広げる				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定アドバイス				
関連科目	ヘアアレンジⅡⅢ、サロンワークⅠ-E、サロンワークⅡ-E				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	吉田 祥子	実務経験		○	
実務内容	某外資系化粧品メーカーにて美容部員として8年間勤務、現在メイクアップインストラクター アイブロウサロンにて活動				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 老人メイク1	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法)老人メイク導入
2	老人メイク2	老婆のメイクを実践する
3	老人メイク3	老父のメイクを実践する
4	舞台メイク1	舞台メイク導入
5	舞台メイク2	舞台の女役メイクを実践する
6	舞台メイク3	舞台の男役メイクを実践する
7	舞台メイク4	テスト
8	ボディアート	ボディアート等の実践
9	キャラクターメイク1	テーマに合わせたメイクを実践する

10	キャラクターメイク2	テーマに合わせたメイクを実践する
11	キャラクターメイク3	テーマに合わせたメイクを実践する
12	キャラクターメイク4	テーマに合わせたメイクを実践するテスト、振り返り
13	傷メイク1	様々な傷(あざ・火傷含む)のメイクの導入
14	傷メイク2	様々な傷(あざ・火傷含む)のメイクの実践
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	特殊メイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	特殊メイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式・エアブラシ道具・ボディージュエリー道具、その他特殊用品等		出版社	株式会社ユアサポート	

科目の基礎情報2

授業のねらい	ボディアート、傷メイクなど特化したシーンで活用できる特殊メイク技術を学び実践できるようにする				
到達目標	特殊メイクを通じて、メイクの知識を深める メイクの応用力を身に付け技術の幅を広げる				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定アドバイス				
関連科目	ヘアアレンジⅡⅢ、サロンワークⅠ-E、サロンワークⅡ-E				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	アニマルメイク1	テーマに基づいたメイクの導入・実践
2	アニマルメイク2	デッサンシートの作成 デッサンシートの基づいたメイクの実践
3	アニマルメイク3	デッサンシートの作成 デッサンシートの基づいたメイクの実践
4	アニマルメイク4	デッサンシートの基づいたメイク(テスト、振り返り)
5	日本の伝統メイク1	テーマに基づいたメイクの導入・実践
6	日本の伝統メイク2	デッサンシートの作成 デッサンシートの基づいたメイクの実践
7	日本の伝統メイク3	デッサンシートの作成 デッサンシートの基づいたメイクの実践
8	ボディペイント1(ボディージュエリー)	テーマに基づいたメイクの導入・実践
9	ボディペイント2(ボディージュエリー)	デッサンシートの作成 デッサンシートの基づいたメイクの実践

10	ボディペイント3(ボディジュエリー)	デッサンシートの作成 デッサンシートの基づいたメイクの実践
11	卒業制作1	卒業制作(導入、実践)
12	卒業制作2	卒業制作(実践)
13	卒業制作3	卒業制作(実践)
14	卒業制作4	卒業制作(実践、振り返り)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	アーティストメイクⅠ（美容史含む）		
必修選択	選択	（学則表記）	アーティストメイクⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式		出版社	なし	

科目の基礎情報2

授業のねらい	ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できる技術を総合的に身につける。				
到達目標	トレンド・年代別・ショーメイク・スチール撮影(フォトコンテスト)に必要なメイク技術と知識を身につける 様々なメイクアップが出来る様に、発想力・表現力を身につける				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定アドバイス				
関連科目	特殊メイクⅠ、スチールヘアメイクⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	吉田 祥子	実務経験	○		
実務内容	某外資系化粧品メーカーにて美容部員として8年間勤務、現在メイクアップインストラクター アイブ로우サロンにて活動				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ベースメイク1	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認 ベースメイク導入、実践
2	ベースメイク2 ポイントメイク	ベースメイク復習 ポイントメイク実践
3	ショーメイク1	立体感や骨格をとらえたメイク(導入、実践)
4	ショーメイク2	Wラインの使ったメイク(導入、実践)
5	ショーメイク3	グリッター・メイク用品のデコレーション素材の使い方(導入、実践)
6	ショーメイク4	色の発色、グラデーションの見せ方(導入、実践)
7	ショーメイク5	テーマに沿った、フルメイク(テスト、振り返り)
8	スチールメイク1	フォトコンで行うメイク制作(導入、実践) テーマに合わせて行う
9	スチールメイク2	フォトコンで行うメイク制作(実践) テーマに合わせて行う

10	スチールメイク3	フォトコンで行うメイク制作(テスト) テーマに合わせて行う
11	スチールメイク4	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
12	トレンドメイク1	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(導入、実践) テーマに合わせて行う
13	トレンドメイク2	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(実践) テーマに合わせて行う
14	トレンドメイク3	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(実践) テーマに合わせて行う
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	アーティストメイクⅡ（美容史含む）		
必修選択	選択	(学則表記)	アーティストメイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式		出版社	なし	

科目の基礎情報2

授業のねらい	ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できる技術を総合的に身につける。				
到達目標	トレンド・年代別・ショーメイク・スチール撮影(フォトコンテスト)に必要なメイク技術と知識を身につける 様々なメイクアップが出来る様に、発想力・表現力を身につける				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定アドバイス				
関連科目	特殊メイクⅡ、スチールヘアメイクⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション メイクの歴史	授業の目的目標、評価基準、授業ルール確認 古代～中世～近代のメイクについて(時代背景や特徴について)
2	年代別のメイク1	年代別 20、30、40
3	年代別のメイク2	年代別 50
4	年代別のメイク3	年代別 60
5	年代別のメイク4	年代別 70、80
6	年代別のメイク5	年代別 90、2000
7	年代別のメイク6	年代別 2010
8	年代別のメイク7	年代別の技術まとめ フルメイクテスト、振り返り
9	卒業制作1	卒業制作(導入、実践)

10	卒業制作2	卒業制作(実践)
11	卒業制作3	卒業制作(実践)
12	卒業制作4	卒業制作(実践)
13	卒業制作5	卒業制作(実践)
14	卒業制作6	卒業制作(実践、振り返り)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	フォト&ファッションⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	フォト&ファッションⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	【フォト】カメラ機材 【ファッション】スマホアプリ(VOGUE RUNWAY等)、雑誌 (VOGUE/MODE ET MODE 等)		出版社	なし	

科目の基礎情報2

授業のねらい	【フォト】写真のレイアウトやモデルのポージング・撮影場所によつての注意点等を理解し、実践力を身につける 【ファッション】ファッションとメイクについての関連性・傾向・知識を知り知識を深める				
到達目標	【フォト】 色・光・影の出方によるメイク映えを知る/撮影中の注意事項を理解する 【ファッション】 トレンドやファッションの知識を深める/ファッションとメイクアップの関連性を知る				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	アーティストメイクⅠⅡ、特殊メイクⅠⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 光と影について	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法)
2	写真のバランス・レイアウト	レイアウトやモデルのポージングについて
3	撮影光と影の使い方	オート(プログラムオート)で自由に撮影 カメラの構え方やレンズの使い方を知る
4	撮影光と影の使い方	オート(プログラムオート)で自由に撮影 露出補正を使いながら意図する明るさで撮る
5	カメラの使い方	撮影のフィードバックとレンズワークによる遠近感の変化 絞りやレンズワークによる背景のボケ方の説明
6	レフの使い方	室内でレフを使った撮影練習
7	作品作り1	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り

8	作品作り2	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
9	スチール1	テーマに合わせた作品制作に向けてポージングやライティング等 準備・試し撮り
10	スチール2	テーマに合わせた作品制作に向けてポージングやライティング等 準備・試し撮り
11	スチール3	テーマに合わせた作品制作に向けてポージングやライティング等 準備・試し撮り
12	テスト	作品作りに合わせたテスト、振り返り
13	作品作り3	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
14	作品作り4	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	フォト&ファッションⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	フォト&ファッションⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	【フォト】カメラ機材 【ファッション】スマホアプリ(VOGUE RUNWAY等)、雑誌(VOGUE/MODE ET MODE 等)		出版社	なし	

科目の基礎情報2

授業のねらい	【フォト】写真のレイアウトやモデルのポージング・撮影場所よっての注意点等を理解し、実践力を身につける 【ファッション】ファッションとメイクについての関連性・傾向・知識を知り知識を深める				
到達目標	【フォト】 色・光・影の出方によるメイク映えを知る/撮影中の注意事項を理解する 【ファッション】 トレンドやファッションの知識を深める/ファッションとメイクアップの関連性を知る				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	アーティストメイクⅠⅡ、特殊メイクⅠⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション メイクとの関連について	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認 メイクとファッションの繋がり
2	服の歴史について1	服の成り立ち(古代～中世)
3	服の歴史について2	服の成り立ち(中世～近代)
4	コレクションについて1	コレクション開催4都市について コレクションの歴史
5	コレクションについて2	コレクションブランドについて (シーズンサイクルなど)
6	コレクションについて3	オートクチュール
7	コレクションについて4	プレタポルテ(レディース・メンズ)

8	コレクションについて5	コレクションの歴史と開催都市等のまとめテスト
9	トレンドについて1	雑誌、SNSの見方と情報収集
10	トレンドについて2	トレンド研究を行う
11	ファッションデザイナー1	雑誌・SNSを使いデザイナーのトレンドを調べる
12	テスト	テスト
13	コンセプトシート作成	発表されたコレクションを模写もしくはアレンジし、デザイン画（コンセプトシートの作成）
14	コンセプトシート作成	発表されたコレクションを模写もしくはアレンジし、デザイン画（コンセプトシートの作成）
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	実技	科目名	サロンワークI-D		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワークI-D		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	新エステティック学 理論編III・フェイシャル・ボディ化粧品 AEAテキスト(サロンマネジメント)		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	
授業のねらい	1マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学び、サロン運営方法を習得する。 2「美」を通して人を魅了することへの表現力を身につける。				
到達目標	1現場実践を積み、接客力を身に付けるとともに症例数をこなすことでコンサルテーション力を身に付ける。 2日ごろの授業のアウトプットとして、人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる。				
評価基準	1実技試験60%/授業態度・提出物など20% 2レポート20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	梅木紀子他1名	実務経験		○	
実務内容	大手エステサロン勤務後プライベートサロン経営を経て講師				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	サロンワーク導入	サロンマネジメントについて サロンワークの目的・運営方法について
	美容総合授業	目標立て・ショーのテーマ決め・各セクション、モデル決定 スケジュール立て・デッサンシート作成
2	サロン立ち上げ企画	接客マナーについて サロン作り・メニュー考案(ディスカッション等)、広報ツール作成
	美容総合授業	構成シート作成・ドレス決定・演出決め・BGMシート作成・デッサンシート完成
3	サロン立ち上げ企画	サロンオープン準備
3	美容総合授業	BGM・映像・ヘアメイク練習
4	サロン立ち上げ企画	サロンオープン準備
4	美容総合授業	BGM・映像・ヘアメイク練習

5	サロン衛生管理	衛生学 消毒の実践
	美容総合授業	BGM・映像・ヘアメイク練習
6	技術練習	サロンオープン準備(フェイシャル)
	美容総合授業	モデルウォーキング・各セクション、動きの確認
7	技術練習	サロンオープン準備(フェイシャル)
	美容総合授業	ショー通しリハーサル
8	技術練習	サロンオープン準備(フェイシャル)
	美容総合授業	ショー通しリハーサル
9	技術練習	サロンオープン準備(ボディ)
10	技術練習	サロンオープン準備(ボディ)
11	技術練習	サロンオープン準備(ボディ)
12	リハーサル	ボディ・フェイシャル
13	プレオープン	ボディ・フェイシャル ※プレオープンのため無料施術
14	振り返り	フィードバックからの学び
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	実技	科目名	サロンワークⅡ-D		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワークⅡ-D		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	新エステティック学 理論編Ⅲ・フェイシャル・ボディ化粧品 AEAテキスト (サロンマネジメント)		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	
授業のねらい	マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学び、サロン運営方法を習得する。				
到達目標	現場実践を積み、接客力を身に付けるとともに症例数をこなすことでコンサルテーション力を身に付ける。				
評価基準	実技試験60%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	オリエンテーション・前期の復習・サロンワーク準備
2	サロンワーク	サロン実習 適宜振り返りのタイミングを設けながら接客力向上のための取り組みを実施する
3		
4		
5		
6	サロンワーク	サロン実習 適宜振り返りのタイミングを設けながら接客力向上のための取り組みを実施する
7		
8	サロンワーク	サロン実習 適宜振り返りのタイミングを設けながら接客力向上のための取り組みを実施する

9		
10		
11	サロンワーク	サロン実習 適宜振り返りのタイミングを設けながら接客力向上のための取り組みを実施する
12		
13		
14		
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	エステティックカウンセリングⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティックカウンセリングⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ－Ⅲ／AEAテキスト（各項目） シデスコガイドライン		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会 CIDESCO-NIPPON	

科目の基礎情報2

授業のねらい	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、カウンセリングシートを作成する。 お手入れとアドバイスを専門的に行える知識を身につける。				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン筆記試験合格基準				
評価基準	筆記試験40％・コンサルテーション40％・授業態度、提出物など20％				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン CIDESCOインターナショナルエステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	フェイシャルマニピュレーション・フェイシャルスキンケア・ボディベーシック・ボディテクニカル サロントリートメント・サロンワーク・エステティック総論Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	安喰弘子	実務経験		○	
実務内容	エステサロン10年（内メディカルエステ4年）				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年振り返り	1年生振り返り
2	コンサルテーションシートの記入について(ボディ)	コンサルテーションシートの記入方法について（ボディ）
3	コンサルテーションシートの記入について(フェイシャル)	コンサルテーションシートの記入方法について（フェイシャル）
4	姿勢の判定や肺葉型 りんご型・洋なし型	姿勢の判断や肺葉型とその特徴 内臓脂肪型と皮下脂肪型 前弯・後弯・O脚・X脚、3つの胚葉型とその特徴
5	女性ホルモンとストレスと睡眠 セルライトと水分滞留	女性ホルモンとストレスと睡眠 セルライトと水分滞留
6	ホームケアアドバイス ボディ	運動学・栄養学・食事指導
7	ホームケアアドバイス フェイシャル	運動学・栄養学・食事指導

8	AEA上級認定試験対策	コンサルテーションシート記入(ボディ・フェイシャル)・口頭試問
9	AEA上級認定試験対策	コンサルテーションシート記入(ボディ・フェイシャル)・口頭試問
10	AEA上級認定試験対策	コンサルテーションシート記入(ボディ・フェイシャル)・口頭試問
11	コンサルテーションシートの フェイシャル記入について	肌トラブル別の理論的解説・コンサルシートを仕上げる
12	口頭試問対策	肌トラブル別の理論的解説・コンサルシートを仕上げる 成績評価2
13	コンサルテーションシートの ボディ記入について	運動生理について理論的解説・コンサルシートを仕上げる
14	口頭試問対策	運動生理について理論的解説・コンサルシートを仕上げる 成績評価3
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	エステティックカウンセリングⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティックカウンセリングⅢ		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ－Ⅲ/AEAテキスト(各項目) シデスコガイドライン		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会 CIDESCO-NIPPON	

科目の基礎情報2

授業のねらい	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、カウンセリングシートを作成する。 お手入れとアドバイスを専門的に行える知識を身につける。				
到達目標	CIDESCOインターナショナル合格基準(後期) (AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準)				
評価基準	筆記試験40%・コンサルテーション40%・授業態度、提出物など20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> 出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者 				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン CIDESCOインターナショナルエステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	フェイシャルマニキュレーション・フェイシャルスキンケア・ボディベーシック・ボディテクニカル サロントリートメント・サロンワーク・エステティック総論Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	CIDESCO実技口頭試問対策 筆記試験範囲	CIDESC試験筆記範囲 コンサルテーション 口頭試問 成績評価4
2	CIDESCO実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
3	CIDESCO実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
4	CIDESCO実技口頭試問対策 筆記試験範囲	CIDESC試験筆記範囲 コンサルテーション 口頭試問 成績評価4
5	CIDESCO実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
6	CIDESCO実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
7	CIDESCO実技口頭試問対策 筆記試験範囲	

8	CIDESCO実技口頭試問対策 筆記試験範囲	CIDESC試験筆記範囲 コンサルテーション
9	CIDESCO実技口頭試問対策 筆記試験範囲	口頭試問 成績評価4
10	CIDESCO実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
11	筆記試験	成績評価5 筆記試験模試
12		CIDESC試験範囲
13	CIDESCO実技口頭試問対策 筆記試験範囲	コンサルテーション 口頭試問 筆記試験範囲 補填
14		
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	サロントリートメントⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	サロントリートメントⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	新エステティック学 新エステティック学選択科目編 AEAテキスト西洋・東洋のセラピー クリエーヌ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	研究レポートの作成と世界のエステを学ぶ ・東洋医学・フットケア・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー ・タラソセラピー・ストーンセラピー				
到達目標	エステティシャンとしての接客マナーを実践し、様々な技術を安全に行うことができる。 CIDESCOインターナショナル合格基準				
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	CIDESCOインターナショナルエステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論Ⅰ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	梅木紀子	実務経験	○		
実務内容	大手エステサロン勤務後プライベートサロン経営を経て講師				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	トリートメント オリエンテーション	研究レポートについて説明・テーマの決定・作成方法と期日の説明 実習記録の作成方法の説明
2	研究レポートの作成 症例紹介	研究レポートの目次の作成 構成を考え、内容を決める
3	研究レポートの作成	研究レポートのテーマの選択理由、その他作成
4	研究レポートの作成	研究レポート作成
5	ハイドロセラピー タラソセラピー	理論 タラソセラピーとは歴史・効果/注意・禁忌事項・応用
6	ボディパック・ラップ	試験内で使用するボディパック・ラップの導入・実践
7		

8		
9		
10	プレトリートメント 成績評価12	プレトリートメントに必要な技術・知識の取得 (ボディパック・ボディブラシ・ボディスクラブ・パラフィンパック・ヒートマット・赤外線など)
11	研究レポートの作成 要約文の完成	成績評価12※内容は各校判断とする 研究レポートの補填 要約文の完成
12		
13		
14		
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	サロントリートメントⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	サロントリートメントⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	新エステティック学 新エステティック学選択科目編 AEAテキスト西洋・東洋のセラピー クリエーヌ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	世界のエステの知識、技術を学ぶ。 ・東洋医学・フットケア ・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー ・タラソセラピー・ストーンセラピー				
到達目標	エステティシャンとしての接客マナーを実践し、様々な技術を安全に行うことができる。 CIDESCOインターナショナル合格基準				
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	CIDESCOインターナショナルエステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論Ⅰ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	研究レポートの仕上げ・確認 ペディキュア導入	研究レポートの仕上げ・確認 ペディキュア デモンストレーション
2	ペディキュア	ペデュキュア 練習
3		
4	東洋医学 リフレクソロジー	理論/東洋式と西洋式の違い・東洋式について(経絡・経穴) 基本手技/東洋式・西洋式
5		
6	ストーンセラピー 成績評価1	ストーンマッサージ手技・歴史など
7	ストーンセラピー 成績評価1	ストーンマッサージ手技・歴史など

8	代替療法	インド伝統医学の考え方と療法（理論） アーユルヴェーダーマッサージ（実技）
9	アーユルヴェーダー	
10	リンパドレナージュ	理論 リンパドレナージュとは（歴史・効果）/リンパ液・リンパ節について
11		理論 リンパドレナージュ/注意・禁忌事項など基本手技/下肢後面・腰背部
12	復習	実技試験対策・ 用具類の衛生について
13	マッサージ-マスク- ネイル(ペデュキュア)・メイクアップ	クライアントに応じてコンサルテーションシートを仕上げる +マッサージ・メイク練習
14	成績評価2	クライアントに応じてコンサルテーションシートを仕上げる +マッサージ・ネイル練習
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	エステティック総論Ⅰ-A		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティック総論Ⅰ-A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ-Ⅲ/AEAテキスト(各項目) シデスコガイドライン		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会 CIDESCO-NIPPON	

科目の基礎情報2

授業のねらい	エステティック知識総合(資格試験対応) ・皮膚学・生理解剖学・栄養学・運動学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学を学ぶ。				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン筆記試験合格基準 CIDESCOインターナショナル合格基準 (AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準)				
評価基準	筆記試験60%・小テスト20%・授業態度、提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン CIDESCOインターナショナルエステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	フェイシャルマニピュレーション・フェイシャルスキンケア・ボディベーシック・ボディテクニカル・サロントリートメント・サロンワーク・エステティックカウンセリングⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	安喰弘子	実務経験		○	
実務内容	エステサロン10年(内メディカルエステ4年)				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	総論オリエンテーション 皮膚の構造・生理機能	シデスコ本試験(筆記)及びAEA筆記試験(任意)の概要説明 総論授業の年間スケジュール等確認 ※皮膚学・1年次復習(皮膚構造/皮膚の働き)
2	肌質・皮膚トラブル	肌別トラブル(脂性・乾性・敏感など) 皮膚トラブル(ニキビ、シミ、しわ、たるみなど) ※肌のPH値、水分量、皮脂量の見極め方 ※皮膚トラブルの特徴と原因
3	アレルギー理論・その他の皮膚疾患	皮膚トラブル(アレルギー性皮膚疾患、アトピー性皮膚炎、接触性皮膚炎など) ※アレルギーの型及び理論的解釈 ※アレルギー疾患以外の皮膚疾患(原因、症状)の理解
4	救急法	・サロンでの救急法 ・心肺蘇生法と止血法 ・主な症状の怪我と病気 ・主な事故・怪我の手当て

5	電気理論・人体と電気 エステティック機器の種類と原理	電気の基礎知識 原子とは/イオン結合/電流と電子/動電気と静電気/電流の3大作用/直流と交流 電気信号伝達メカニズム・エステティック機器の種類・原理
6	化粧品と薬機法 化粧品の品質と品質特性	化粧品と薬機法 成績評価1 ※皮膚学、救急法、電気学、化粧品学の確認試験（AEA問題集より抜粋）
7	栄養学復習	栄養学の基礎知識/肌トラブル・身体トラブルと栄養の関係/フィトケミカル
8	運動生理学復習	運動の必要性/代謝と運動/運動処方/運動の実際(実演)
9	人体のあらまし細胞・組織・器官	人体の成り立ち・名称、主な器官の位置・大きさ 細胞の構造と働き、細胞の分裂、組織の分類・器官・器官系
10	循環器系	循環器系(心臓血管系・リンパ系)、血液成分
11	内分泌系	内分泌器官それぞれのホルモンの種類・作用
12	AEA上級認定エステティシャン 演習問題	成績評価2
13	神経系	中枢神経系と末梢神経系
14	脱毛学 ※プロボディⅡにて実技導入	・美容脱毛学概論 ・脱毛法の分類と各特徴、美容電気脱毛法 ・皮膚組織と毛、皮膚組織の断面図・毛の構造 ・毛の特色・毛包の構造・発毛のしくみと毛周期 ・注意すべき皮膚疾患に対する知識と対処法・体質への配慮
15	総合授業	総まとめ ※技術理論と皮膚学、生理学、機器学、栄養学、運動学などの繋がりを確認させる ※口頭試問対策及び理解度の確認

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	エステティック総論Ⅱ - A		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティック総論Ⅱ - A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ - Ⅲ / AEAテキスト (各項目) シデスコガイドライン		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会 CIDESCO-NIPPON	

科目の基礎情報2

授業のねらい	エステティック知識総合 (資格試験対応) ・皮膚学・生理解剖学・栄養学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学を学ぶ				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン筆記試験合格基準 CIDESCOインターナショナル合格基準 (AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準)				
評価基準	筆記試験60%・小テスト20%・授業態度、提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン CIDESCOインターナショナルエステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	フェイシャルマニピュレーション・フェイシャルスキンケア・ボディベーシック・ボディテクニカル・トリートメント・サロンワーク・エステティックカウンセリングⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	筋系・骨格系	筋内の種類と特徴/骨の種類と構造/部位ごとの名称と働き
2	CIDESCO 筆記試験対策	・その他生理解剖学補足 ・ホメオスタシスと生命活動含む CIDESCO筆記試験を想定した模擬試験及びその結果のフォロー講義

3	CIDESCO 筆記試験対策	<ul style="list-style-type: none"> ・その他生理解剖学補足 ・ホメオスタシスと生命活動含む CIDESCO筆記試験を想定した模擬試験及びその結果のフォロー講義
4		
5	CIDESCO 筆記試験対策	<ul style="list-style-type: none"> ・自然科学 ・最新美容技術 ・ガイドライン（筆記試験内容の補足部分） CIDESCO筆記試験を想定した模擬試験及びその結果のフォロー講義
6		
7		
8		
9	CIDESCO 筆記試験対策	<ul style="list-style-type: none"> ・自然科学 ・最新美容技術 ・ガイドライン（筆記試験内容の補足部分） CIDESCO筆記試験を想定した模擬試験及びその結果のフォロー講義
10		
11	筆記試験	成績評価3
12	CIDESCO 筆記試験対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドライン ・CIDESCO筆記試験を想定した模擬試験及びその結果フォロー講義 成績評価4
13		
14		
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	フェイシャルマニピレーションⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	フェイシャルマニピレーションⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ・理論編Ⅲ/AEAテキスト10冊 セット クリエータ化粧品セット・フェイシャル化粧品		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロフェイシャルで学んだハンドテクニック技術、知識を深める。				
到達目標	CIDESCOインターナショナル合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	CIDESCOインターナショナルエステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	佐藤由美他1名	実務経験		○	
実務内容	エステサロンで10年勤務後（フェイシャル・ボディ・脱毛）、商社でのインストラクター				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	フェイシャルマニピレーション オリエンテーション	担当教員自己紹介・後期授業の方向付け、履修目標について解説前期の振り返り
2	フェイシャル化粧品ガイダンス マスク（肌別・形状別）	2年より導入のフェイシャル化粧品の導入 （目的、効果、成分、使用法等）
3	オリジナルマッサージ スエデッシュマッサージ導入	オリジナルマッサージ デモンストレーション
4	フェイシャルカウンセリング	クライアントに応じコンサルテーションシートを仕上げる
5	AEA上級エステティシャン 試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習 ・クレンジング～カウンセリング～シート記入～パック選択～マッサージ～仕上げ⇒アフター
6	メイクアップ	実技試験対策・ 用具類の衛生について
7	マッサージ-メイクアップ	マッサージ・メイク練習 成績評価1
8	ネイル	実技試験対策・ 用具類の衛生について

9	マッサージ-マスク-ネイル	クライアントに応じてコンサルテーションシートを仕上げる +マッサージ・ネイル練習
10	デープクレンジング	クライアントに応じてコンサルテーションシートを仕上げる +マッサージ・メイク・ネイル 成績評価2
11	マッサージ-ネイル-メイク	
12	ティンティング・ツイー징グ	デモンストレーション
13		練習
14	ペディキュア	デモンストレーション 実技試験対策・用具類の衛生について
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	フェイシャルマニピレーションⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	フェイシャルマニピレーションⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ・理論編Ⅲ/AEAテキスト10冊 セット クリエーナ化粧品セット・フェイシャル化粧品		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロフェイシャルで学んだハンドテクニック技術、知識を深める。				
到達目標	CIDESCOインターナショナル合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	CIDESCOインターナショナルエステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 肌別・トラブル別の選択	<ul style="list-style-type: none"> ・実技試験を想定しての流れの説明 クレンジング・カウンセリング（肌分析）・ティンティング・ツイーピング ディープクレンジング・電気トリートメント・マッサージ・マスク・仕上げ
2	皮膚生理学・化粧品学・機器	<ul style="list-style-type: none"> ネイルケア・メイク・アフターカウンセリング ※肌タイプ別のプランの立て方や、苦手分野を補って練習を行う。
3	総合実技試験	本番の試験同様の流れで行う 成績評価1

4	アフターカウンセリング	クレンジング・カウンセリング（肌分析） ティンティング・ツイージング
5	フェイシャルテクニック総合 クライアント実習	ディープクレンジング・電気トリートメント マッサージ・マスク・仕上げ ネイルケア・メイク アフターカウンセリング
6		
7	総合実技試験	本番の試験同様の流れで行う 成績評価2
8	フェイシャルテクニック総合 クライアント実習	クレンジング・カウンセリング（肌分析） ディープクレンジング・電気トリートメント マッサージ・マスク・仕上げ ネイルケア・メイク アフターカウンセリング
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	フェイシャルスキンケアⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	フェイシャルスキンケアⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	新エステティック学 新エステティック学選択科目編 AEAテキストエステティックカウンセリング エステティック電気学、機器学・クリエータ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロフェイシャルで学んだハンドテクニック技術、知識を深める。 電気機器の正しい取り扱い、効果、禁忌事項、留意点について理解する。				
到達目標	CIDESCO国際ナショナル合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	CIDESCO国際ナショナルエステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大島千夜	実務経験		○	
実務内容	大手エステサロン勤務を経てプライベートサロン運営				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	フェイシャルスキンケア オリエンテーション	1コマ 担当教員自己紹介・前期授業の方向付け、履修目標について解説 1年の振り返り 接客の基礎実践 ディープクレンジング復習
2	フェイシャル電気機器 直流電流	イオントフォーゼ・デイスインクラステーション 実技理論・デモンストレーション含む ※連動教科
3		総論→電気学 ボディ→ガルバニック)
4	フェイシャル電気機器 交流電流	低周波 実技理論・デモンストレーション含む ※連動教科
5		総論→電気学 ボディ→低周波)
6	フェイシャル電気機器まとめ 直流・交流電流	成績評価1
7	フェイシャル電気機器	パター ディープ機器選択 実技理論・デモンストレーション含む

8	バター	※連動教科 総論→解剖生理学 ボディ→サクション)
9		
10	フェイシャル電気機器 高周波	高周波（直接法・間接法・閃光法） 実技理論・デモンストレーション含む
11		
12	フェイシャル電気機器まとめ バター・高周波	成績評価2
13	電気トリートメント選択方法	クライアントに応じた機器の選択（カウンセリング含む）
14	復習	禁忌事項・操作方法の確認
15	総合授業	総合授業を行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	フェイシャルスキンケアⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	フェイシャルスキンケアⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	新エステティック学 新エステティック学選択科目編 AEAテキストエステティックカウンセリング エステティック電気学、機器学・クリエーン化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロフェイシャルで学んだハンドテクニック技術、知識を深める。 電気機器の正しい取り扱い、効果、禁忌事項、留意点について理解する。				
到達目標	CIDESCO国際ナショナル合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	CIDESCO国際ナショナルエステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	肌別・トラブル別の選択	カウンセリングシート作成 選択理由・目的・効果
2	皮膚生理学・化粧品学・機器	口答試験対策・解説 禁忌事項・操作方法
3	総合実技試験（判定試験1回目）	本番の試験同様の流れで行う
4	アフターカウンセリング	カウンセリングシートに基づくアドバイス 理論的解説
5	フェイシャルテクニック総合	クレンジング・カウンセリング（肌分析） ティンティング・ディープクレンジング・電気トリートメント
6	クライアント実習	マッサージ・マスク・仕上げ・ネイルケア・メイク アフターカウンセリング
7	総合実技試験（判定試験2回目）	本番の試験同様の流れで行う 成績評価3

8		
9		
10		クレンジング・カウンセリング（肌分析）
11	フェイシャルテクニック総合	ティンティング・ディープクレンジング・電気トリートメント
12	クライアント実習	マッサージ・マスク・仕上げ・ネイルケア・メイク
13		アフターカウンセリング
14		
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ボディベーシックⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ボディベーシックⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ・理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・クリエータ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	応用トリートメント（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得 ベーシックエステ、プロボディで学んだハンドテクニック技術、知識を深める。				
到達目標	CIDESCO国際ナショナル合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	CIDESCO国際ナショナルエステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大島千夜他1名	実務経験	○		
実務内容	大手エステサロン勤務を経てプライベートサロン運営				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ボディベーシック オリエンテーション	担当教員自己紹介・後期授業の方向付け、履修目標について解説前期の振り返り
2	ボディ分析 コンサルテーションシートの記入 実習記録シートの記入方法の確認	ボディチェック・運動生理学・姿勢・ポジショニング 実習記録シートの記入方法の確認
3	オリジナル・スウェディッシュマッサージ導入	オリジナル・スウェディッシュマッサージ導入
4	ボディ分析	マッサージ練習
5	スウェディッシュマッサージ練習	
6	ボディ分析 スウェディッシュマッサージ練習	成績評価1 スウェディッシュマッサージ

7		脱毛理論/体毛について毛髪学/成分/ワックス脱毛の目的と効果
8	脱毛 Wax (Warm)	脱毛理論/成分/注意事項・禁忌事項 ワックス実技 (腕・足) (デモンストレーション・実技)
9	AEA上級	【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習
10	エステティシャン 試験対策	
11	コンサルテーションシート記入 (冷え、貧血、低血圧)	ボディトラブルの理論的解説 (原因・症状・改善策など)
12	コンサルテーションシート記入 (むくみ、低体温)	+スウェディッシュマッサージ練習or脱毛 (Warm)練習 運動生理について理論的解説 コンサルシートを仕上げる
13	コンサルテーションシート記入 (セルライト、脂肪)	成績評価2
14	脱毛 Wax (Hot)	ワックス実技 (脇・Vライン) (デモンストレーション・実技)
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ボディベーシックⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ボディベーシックⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ・理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・クリエータ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	応用トリートメント（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得 ベーシックエステ、プロボディで学んだハンドテクニック技術、知識を深める。				
到達目標	CIDESCO国際ナショナル合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	CIDESCO国際ナショナルエステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション・脱毛復習	オリエンテーション・Wax (Warm/Hot)
2	通し練習	スウェディッシュマッサージ復習～脱毛まで・脱毛項目成績評価3
3	総合実技試験（判定試験1回目）	本番の試験同様の流れで行う
4	アフターカウンセリング	カウンセリングシートに基づくアドバイス 理論的解説
5	ボディテクニック総合 クライアント実習	カウンセリングシートの記入法・お通し カウンセリング・採寸・機器選択
6		ボディマッサージ・アフターカウンセリング … 一連の流れで練習 ※体質別のプランの立て方や、苦手分野を補って練習を行う。
7	総合実技試験（判定試験2回目）	本番の試験同様の流れで行う 成績評価4

8		
9		カウンセリングシートの記入法・お通し
10		カウンセリング・採寸・機器選択
11	ボディテクニック総合	ボディマッサージ
12	クライアント実習	アフターカウンセリング … 一連の流れで練習
13		wax脱毛
14		※体質別のプランの立て方や、苦手分野を補って練習を行う。
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ボディテクニカルⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ボディテクニカルⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・クリエータ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	ボディテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得。 エステティック機器の技術、知識を深める。				
到達目標	CIDESCOインターナショナル合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	CIDESCOインターナショナルエステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	佐藤由美他1名	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ボディテクニカル オリエンテーション	担当教員自己紹介・後期授業の方向付け、履修目標について解説前期の振り返り ボディ用化粧品ガイダンス・2年より導入の化粧品の導入（目的、効果、成分、使用法等）
2	プレトリートメント導入	化粧品、赤外線、ヒートマットなどを用いて行うプレトリートメント(理論、実技)
3		
4	ボディ電気機器 直流電流	ガルバニック 口答試問対策・解説・禁忌事項・操作方法 ※連動教科：総論→電気学
5		フェイシャルスキンケア⇒イオン・デイスインクラステーション

6	ボディ電気機器	低周波
7	交流電流	口答試問対策・解説 禁忌事項・操作方法 ※連動教科：総論→電気学 フェイシャルスキンケア⇒低周波
8	ボディ電気機器 実技テスト1	成績評価1
9	ボディ電気機器	サクション
10	サクション	口答試問対策・解説 禁忌事項・操作方法 ※連動教科：総論→電気学 フェイシャルスキンケア⇒パター
11	ボディ電気機器	G5
12	G5	口答試問対策・解説 禁忌事項・操作方法 ※連動教科：総論→電気学
13	ボディ電気機器 実技テスト2	成績評価2
14	プレトリートメント・電気トリートメント選択 方法復習（カウンセリング含クライアント実 習）	クライアントに応じた機器の選択 禁忌事項・操作方法の確認
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ボディテクニカルⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ボディテクニカルⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・クリエヌ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	ボディテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得。 エステティック機器の技術、知識を深める。				
到達目標	CIDESCOインターナショナル合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	CIDESCOインターナショナルエステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	体質・トラブル別の選択	カウンセリングシート作成 選択理由・目的・効果
2	生理学・化粧品学・機器	口答試問対策・解説 禁忌事項・操作方法
3	総合実技試験（判定試験1回目）	本番の試験同様の流れで行う 成績評価3
4	アフターカウンセリング	カウンセリングシートに基づくアドバイス 理論的解説
5	ボディテクニック総合	カウンセリングシートの記入法・お通し カウンセリング・採寸・機器選択
6	クライアント実習	ボディマッサージ・アフターカウンセリング … 一連の流れで練習 ※体質別のプランの立て方や、苦手分野を補って練習を行う。
7	総合実技試験（判定試験2回目）	本番の試験同様の流れで行う 成績評価4

8		
9		カウンセリングシートの記入法・お通し
10		カウンセリング・採寸・機器選択
11	ボディテクニック総合	ボディマッサージ
12	クライアント実習	アフターカウンセリング … 一連の流れで練習 ※体質別のプランの立て方や、苦手分野を補って練習を行う。
13		
14		
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	プロボディⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	プロボディⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・クリエーナ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	ボディテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得をする。 ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニック・接客マナー				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	梅木紀子	実務経験		○	
実務内容	大手エステサロン勤務後プライベートサロン経営を経て講師。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1年次復習	自己紹介・前期授業内容の説明、履修目標について解説 ボディ用化粧品ガイダンス・2年より導入の化粧品の導入（目的、効果、成分、使用法等） 1年次の復習（ボディチェック+マッサージ）
2	ボディ分析 コンサルテーションシートの記入	ボディチェック・運動生理学・姿勢・ポジショニング・採寸 AEAコンサルテーションシートの記入方法について

3		
4	ボディ電気機器 交流電流	低周波 口答試問対策・解説 禁忌事項・操作方法 ※連動教科：総論→電気学
5		
6	ボディ電気機器	サクシヨン 口答試問対策・解説 禁忌事項・操作方法 ※連動教科：総論→電気学
7	サクシヨン	
8	AEA上級	
9	エステティシャン 試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習 成績評価1 模擬試験
10		
11	ボディ電気機器	G5 口答試問対策・解説 禁忌事項・操作方法 ※連動教科：総論→電気学
12	G5	
13		ボディ機器 総合復習
14	ボディ機器総合	ボディ機器 総合復習 成績評価2 機器総合
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	プロボディⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	プロボディⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・クリエーナ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	ボディテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得をする。 ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニック・接客マナー				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 脱毛理論	脱毛理論/体毛について毛髪学/成分/ワックス脱毛の目的と効果/成分/注意事項・禁忌事項 デモンストレーション
2		
3	脱毛 Wax (Warm)	ワックス実技演習（腕・足） 成績評価1 脱毛試験
4		
5	アフターカウンセリング	カウンセリングシートに基づくアドバイス 理論的解説

6		
7	ボディテクニック総合	カウンセリングシートの記入法・お通し カウンセリング・採寸・機器選択 ボディマッサージ アフターカウンセリング … 一連の流れで練習 wax脱毛 ※体質別のプランの立て方や、苦手分野を補って練習を行う。
8	クライアント実習	
9		
10		
11	AJESTE上級 エステティシャン	【試験練習】 ・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習 脱毛含む 成績評価2 模擬試験
12	試験対策	
13		
14	ボディテクニック総合	ボディテクニック総合 復習
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	プロフェイシャルII-B		
必修選択	選択	(学則表記)	プロフェイシャルII-B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	90
使用教材	新エステティック学 技術編I理論編III AEAテキスト10冊セット・クリエーヌ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	フェイシャルテクニック総合(資格試験対応)クライアントに対応した知識、技術の習得する。 ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニック・接客マナー				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングII・エステティック総論				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・6コマを3コマずつに分けてカリキュラムを週2回実施				
担当教員	小笠原朱莉	実務経験		○	
実務内容	エステサロン勤務を経て講師				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1年次復習	自己紹介・前期授業の説明、履修目標について解説 1年次振り返り 接客の基礎実践 ディープクレンジング復習
2	フェイシャル化粧品ガイダンス マスク(肌別・形状別)	2年より導入のフェイシャル化粧品の導入 (目的、効果、成分、使用法等)
3	AEA上級 エステティシャン 試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習
4		
5		
6	AEA模擬試験	成績評価1

7	フェイシャル電気機器 直流電流	イオントフォーレーゼ・デイスインクラスステーション 実技理論・デモンストレーション含む ※連動教科 (総論→電気学 ボディ→ガルバニック)
8		
9	フェイシャル電気機器 サクション	バター 実技理論・デモンストレーション含む ※連動教科 (総論→解剖生理学 ボディ→サクション)
10		
11	フェイシャル電気機器 高周波	高周波 (直接法・間接法・閃光法) 実技理論・デモンストレーション含む
12		
13	フェイシャル総合授業	成績評価2
14	オリジナルマッサージ スウェディッシュマッサージ練習	オリジナルマッサージ デモンストレーション・実践
15	総合授業	総合授業を行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	プロフェイシャルIII-B		
必修選択	選択	(学則表記)	プロフェイシャルIII-B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	90
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・クリエーナ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	フェイシャルテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得 ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニック・接客マナー				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・6コマを3コマずつに分けてカリキュラムを週2回実施				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	肌別・トラブル別の選択	【3コマ】カウンセリングシート作成 選択理由・目的・効果 【3コマ】メイク・ネイルいずれかを実施
2	皮膚生理学・化粧品学・機器	【3コマ】口答試験対策・解説・禁忌事項・操作方法 【3コマ】メイク・ネイルいずれかを実施
3	アフターカウンセリング	カウンセリングシートに基づくアドバイス 理論的解説・小テスト
4	オリジナルマッサージ	オリジナルマッサージ
5	スウェデッシュマッサージ練習	デモンストレーション・実践

6		
7	AJESTHE上級 エステティシャン 試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習
8		
9	模擬試験	成績評価3
10		クレンジング・カウンセリング（肌分析）
11	フェイシャルテクニック総合	ディープクレンジング・電気トリートメント
12	クライアント実習	マッサージ・マスク・仕上げ・メイク・ネイル
13		アフターカウンセリング
14	フェイシャルテクニック総合	フェイシャルエステティック総合復習 成績評価4
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	プロフェイシャルII - C		
必修選択	選択	(学則表記)	プロフェイシャルII - C		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	新エステティック学 技術編I理論編III AEAテキスト10冊セット・クリエーナ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	フェイシャルテクニック総合（資格試験対応） クライアントに対応した知識、技術の習得をする。 ・コンサルテーション・エステティック機器				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン合格基準 技術力確認試験合格基準				
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン 技術力確認試験				
関連科目	エステティックカウンセリングII・エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	プロフェイシャルII オリエンテーション	自己紹介・前期授業の説明、履修目標について解説 1年次振り返り 接客の基礎実践 ディープクレンジング復習
2	フェイシャル化粧品ガイダンス マスク（肌別・形状別）	2年より導入のフェイシャル化粧品の導入 （目的、効果、成分、使用法等）
3	オリジナルマッサージ	オリジナルマッサージ
4	スウェディッシュマッサージ導入	デモンストレーション
5	フェイシャル電気機器 直流電流	イオントフォーレーゼ・ディスインクラステーション 実技理論・デモンストレーション含む
6	フェイシャル電気機器 交流電流	低周波 実技理論・デモンストレーション含む
7	フェイシャル電気機器 交流電流	低周波 実技理論・デモンストレーション含む

8	AEA上級 エステティシャン	【試験練習】・試験の流れの説明・実技試験の流れで練習 成績評価1 模擬試験
9	試験対策	
10	フェイシャル電気機器	パター 実技理論・デモンストレーション含む ※連動教科 総論→解剖生理学 ボディ→サクション
11	サクション	
12	フェイシャル電気機器	高周波（直接法・間接法・閃光法） 実技理論・デモンストレーション含む
13	高周波	
14	フェイシャル機器総合	成績評価2 機器総合
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	プロフェイシャルⅢ - C		
必修選択	選択	(学則表記)	プロフェイシャルⅢ - C		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・クリエーナ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	フェイシャルテクニック総合（資格試験対応） クライアントに対応した知識、技術の習得をする。 ・コンサルテーション・エステティック機器				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン合格基準 技術力確認試験合格基準				
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン 技術力確認試験				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	エステ研修	エステ研修の実施
2		
3	肌別・トラブル別の選択 皮膚生理学・化粧品学・機器・ディープクレンジング	カウンセリングシート作成（選択理由・目的・効果） 口答試問対策・解説・禁忌事項・操作方法
4		ディープクレンジングの肌別選択・目的
5	アフターカウンセリング	カウンセリングシートに基づくアドバイス 理論的解説
6	技術力確認試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習 成績評価1 模擬試験

7		
8	技術力確認試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習 成績評価1 模擬試験
9		
10		クレンジング・カウンセリング（肌分析）
11	フェイシャルテクニック総合	ディープクレンジング・電気トリートメント
12	クライアント実習	マッサージ・マスク・仕上げ
13		アフターカウンセリング
14	フェイシャルテクニック総合	フェイシャルエステティック総合復習 成績評価2
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	エステティック総論Ⅰ - B		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティック総論Ⅰ - B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ - Ⅲ / AEAテキスト (各項目)		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	エステティック知識総合 (資格試験対応) ・皮膚学・生理解剖学・栄養学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学を学ぶ。				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン筆記試験合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	筆記試験60%/小テスト・ケースワーク20%/授業態度、提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	プロフェイシャルⅡ・プロフェイシャルⅢ・サロントリートメント・サロンワーク・エステティックカウンセリングⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大島千夜	実務経験		○	
実務内容	大手エステサロン勤務を経てプライベートサロン運営				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 救急法	・救急法の基礎知識・一次救命処置・主な症状の救急手当・主な事故の手当て
2	電気理論	・電気が生じるしくみ ・化学結合の種類 ・電気の基礎知識
3	人体と電気 エステティック機器の種類と原理	・体の中の電気のしくみ ・エステティックにおける生体電気の利用
4	皮膚の構造・生理機能	皮膚の構造と生理機能
5	トラブル肌と皮膚疾患	・接触性皮膚炎・アレルギー性疾患 ・アトピー性皮膚炎 ・その他の主な皮膚疾患 成績評価1
6	トラブル肌と皮膚疾患 筆記試験	・接触性皮膚炎・アレルギー性疾患 ・アトピー性皮膚炎 ・その他の主な皮膚疾患 成績評価1
7	人体のあらまし細胞・組織・器官	・人体のあらまし ・人体の成り立ち
8	人体のあらまし細胞・組織・器官	・人体のあらまし ・人体の成り立ち

9	人体の器官系感覚器系・消化器系	感覚器（感覚器のあらし・各感覚器の構造と働き）
10		消化器系（消化器系のあらし・各消化器の構造と働き）
11	化粧品と薬機法 化粧品の品質と品質特性	・化粧品と医薬品医療機器等法 ・化粧品の品質と品質特性 ・化粧品の分類と特徴
12	AEA上級認定E 演習問題	AEA問題集の解説を行いながら検定対策をする
13		
14	筆記試験	模擬試験 成績評価2
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	エステティック総論Ⅱ - B		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティック総論Ⅱ - B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ - Ⅲ / AEAテキスト (各項目)		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	エステティック知識総合 (資格試験対応) ・皮膚学・生理解剖学・栄養学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学を学ぶ				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン筆記試験合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	筆記試験60%/小テスト・ケースワーク20%/授業態度、提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	プロフェイシャルⅡ・プロフェイシャルⅢ・サロントリートメント・サロンワーク・エステティックカウンセリングⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期の振り返り	前期の振り返り
2	脱毛学	・毛髪学概論・毛と毛包の構造
3	※プロボディⅡにて実技導入	・発毛のしくみと毛周期 ・美容脱毛技術者として知っておきたい病気
4	認定上級E筆記対策	検定対策テキストの内容を実施・小テスト
5	1年・2年次の不足の補填	
6	認定上級E筆記対策	検定対策テキストの内容を実施・小テスト
7	1年・2年次の不足の補填	
8	認定上級E筆記対策	検定対策テキストの内容を実施・小テスト
	1年・2年次の不足の補填	

9	筆記試験	成績評価3 AJESTHE上級 模試
10	認定上級E 実技対策	AJESTHE上級試験範囲 コンサルテーション 口頭試問 実技試験対策 成績評価4 ケースワーク
11		
12		
13		
14		
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	エステティック総論Ⅰ-C		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティック総論Ⅰ-C		
開講		単位数	時間数		
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	アロマセラピー検定公式テキスト・問題集 AEAテキスト13 ヒーリングテキスト 新エステティック学 選択科目編		出版社	公益社団法人 日本アロマ環境協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	アロマセラピー検定対策 (ヒーリングエステ専攻対応) アロマセラピーⅠで学んだ知識の総復習 選択科目の理論を学ぶ。 ・東洋医学・フラワーレメディ・アーユルヴェーダー・ロミロミ・カラーセラピー				
到達目標	アロマセラピーを家族や周囲の人々とともに楽しみ、健康維持の為に用いる知識を説明することができる。 アロマセラピー検定1級 選択科目の技術を安全かつ効果的に行うことができる。				
評価基準	筆記試験60% (内アロマ検定1級合否含む) /小テスト20%/授業態度、提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	アロマセラピー検定1級				
関連科目	スパセラピー				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1年次 総合まとめ	オリエンテーション・検定対策 Chapter1 アロマセラピーの基本・Chapter5アロマセラピーのメカニズム
2	1年次 総合まとめ	Chapter2きちんと知りたい精油のこと
3	1年次 総合まとめ	Chapter3アロマセラピーの安全性 Chapter4アロマセラピーを実践する
4	1年次 総合まとめ	Chapter6アロマセラピーとビューティー&ヘルスケア
5	1年次 総合まとめ	Chapter7アロマセラピーの歴史をひもとく
6	1年次 総合まとめ	Chapter2きちんと知りたい精油のこと (切っても切れない精油と環境の深い関係)

7	1年次 総合まとめ 筆記試験	成績評価1 総合まとめ
8	精油プロフィールまとめ	検定練習問題 精油のプロフィールまとめ 小テスト1
9	精油プロフィールまとめ	検定練習問題 精油のプロフィールまとめ 小テスト2
10	精油プロフィールまとめ	検定練習問題 精油のプロフィールまとめ 小テスト3
11	精油プロフィールまとめ	検定練習問題 精油のプロフィールまとめ 小テスト4
12	精油プロフィールまとめ	検定練習問題 精油のプロフィールまとめ 小テスト5
13	精油プロフィールまとめ	検定練習問題 精油のプロフィールまとめ 小テスト6
14	筆記試験	成績評価2 精油プロフィールまとめ
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	エステティック総論Ⅱ - C		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティック総論Ⅱ - C		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	アロマセラピー検定公式テキスト・問題集 AEAテキスト13 ヒーリングテキスト 新エステティック学 選択科目編		出版社	公益社団法人 日本アロマ環境協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	アロマセラピー検定対策 (ヒーリングエステ専攻対応) アロマセラピーIで学んだ知識の総復習 選択科目の理論を学ぶ。 ・東洋医学・フラワーレメディ・アーユルヴェーダー・ロミロミ・カラーセラピー				
到達目標	アロマセラピーを家族や周囲の人々とともに楽しみ、健康維持の為に用いる知識を説明することができる。 アロマセラピー検定1級 選択科目の技術を安全かつ効果的に行うことができる。				
評価基準	筆記試験40%/小テスト20%/アロマ検定1級合否20%/授業態度、提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	アロマセラピー検定1級				
関連科目	スパセラピー				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	エステ研修	エステ研修の実施
2		
3	アロマ4検定筆記対策	検定練習問題
4	アロマ検定筆記対策	検定練習問題
5	東洋医学	東洋医学とは 陰陽五行説について
6	東洋医学	五臓六腑について・気・血・水/八綱病証・外因・内因

7		ロミロミとは
8	ロミロミ	マッサージの特徴・有益性・効果
9	フラワー・レメディ	フラワーレメディとは
10	筆記試験	成績評価1
11	アーユルヴェーダ	アーユルヴェーダの歴史・考え方・体質判断について・食事・生活・その他 ドーシャバランスについて
12		カラーセラピーについて（効果・特徴） オーラソーマについて・カウンセリング
13	カラーセラピー	色の言語 ・ カウンセリング
14	筆記試験	色の言語 ・ 成績評価2
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	アロマセラピー総論Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	アロマセラピー総論Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	アロマセラピー検定公式テキスト 1級 A E Aテキスト 心身生理学 メディカルハーブテキスト		出版社	公益社団法人 日本アロマ環境協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	エステティック知識総合（ヒーリングエステ専攻対応） ・スキンタッチと効果・脳の誕生と進化・機能・脳神経の構造と働き。 ・心と肥満の関わり・ハーブのプロフィール				
到達目標	アロマセラピーを家族や周囲の人々とともに楽しみ、健康維持の為に用いる知識を説明することができる。 アロマセラピー検定1級 合格レベル				
評価基準	筆記試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	アロマセラピー検定1級				
関連科目	スパセラピー				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年の振り返り	前期の振り返り
2	1. スキンタッチと効果 ※カウンセリングと連携	感覚器としての皮膚・スキンタッチの重要性 エステティックマッサージとその心理的効果
3	精油紹介1 (ホメオスタシス)	トリートメント用 ブレンドオイル作り
4	2. 脳の誕生と進化・機能 (ホメオスタシス)	ヒトの脳・脳と心
5	精油紹介2 (ホメオスタシス)	シアバタークリーム作り
6	3. 脳神経の構造と働き ※カウンセリングと連携	脳の基本構造 各部の役割（大脳皮質・間脳脳幹・小脳）
7	3. 脳神経の構造と働き ※カウンセリングと連携	脊髄の構造と働き 末梢神経の種類・神経の伝達経路
8	4. ホメオスタシス ※カウンセリングと連携	外部環境への適応 ホメオスタシスの三角形の各メカニズム

9	精油紹介3 (ホメオスタシス)	ハンガリアンウォーター・化粧水作り
10	5. ストレス ※カウンセリングと連携	ストレスとその正体・ストレスとホメオスタシス・病気 ストレスと上手に付き合う方法・職場とストレス 成績評価1
11	精油紹介4 (ホメオスタシス)	手作りせっけん・石けん素地
12	6. 心と肥満のかかわり ※カウンセリングと連携	肥満の要因・思春期の肥満・女性の肥満
13	アロマ1級範囲 復習 1	アロマセラピーと環境・植物が育んだ生命・身のまわりにある植物と香り アロマセラピーの源流・精油が心身に作用する経路
14	アロマ1級範囲 復習 2	植物と共に生きてきた私たちの歴史/いま地球が抱えるさまざまな難問1人ひとりができることから～未来の子どもたちのため 成績評価2 模擬試験
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	アロマセラピー総論Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	アロマセラピー総論Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	アロマセラピー検定公式テキスト 1級 A E Aテキスト 心身生理学 メディカルハーブテキスト		出版社	公益社団法人 日本アロマ環境協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	エステティック知識総合（ヒーリングエステ専攻対応） ・ スキンタッチと効果・脳の誕生と進化・機能・脳神経の構造と働き ・ 心と肥満の関わり・ハーブのプロフィール				
到達目標	アロマセラピーにを家族や周囲の人々とともに楽しみ、健康維持の為に用いる知識を説明することができる。 アロマセラピー検定1級 合格レベル				
評価基準	筆記試験60%/小テスト10%/授業態度、提出物など10%/アロマ検定1級合否20%				
認定条件	・ 出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・ 成績評価が2以上の者				
関連資格	アロマセラピー検定1級				
関連科目	スパセラピー				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	エステ研修	エステ研修の実施
2		
3	アロマ1級試験復習 模擬試験	成績評価3
4	ハーブのプロフィール メディカルハーブの効果と仕組み	ウスベニアオイ
5		エキナセア
6	ハーブのプロフィール メディカルハーブの効果と仕組み	エルダーフラワー

7	ハーブのプロフィール メディカルハーブを使う	セントジョワズワート ハーブ以外の材料
8	ハーブによる癒しのレシピ	ネットル・安全に使用するために メディカルハーブの効果と仕組み筆記試験 成績評価4
9	ハーブのプロフィール メディカルハーブを使う ハーブによる癒しのレシピ	・ダンディライオン・ラズベリールーフ・ジャーマンカモミール/パッションフラワー アトピー性皮膚炎・湿疹・不安・緊張
10		・リンデン ・ハーブを利用するための様々な方法(湿布) ・花粉症・肩こり・腰痛(温湿布)
11		・ジャーマンカモミール(復習)・ハーブを利用するための様々な方法(チンキ)/しみ・色素沈着の予防 ・ハイビスカス/マテ ・スポーツ前の集中力と持続力のアップ
12		マルベリー/ローズヒップ ダイエット・肌荒れ・外傷
13		・不眠・抑うつ(リンデン)・胃の不調・ペットのケア(ペパーミント) ・二日酔い(ペパーミント・ダンディライオン・ローズヒップ)
14		風邪・インフルエンザ(エキナセア・エルダーフラワー) 目の疲れ(ウスペニアオイ・ジャーマンカモミール)
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	スパセラピーⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	スパセラピーⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	3	60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・ヒーリングテキスト エッセンシャルオイルセット・クリエヌ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	選択科目の技術を学ぶ。 ・東洋医学・フットケア ・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー				
到達目標	エステティシャンとしての接客マナーを実践し、選択科目のさまざまな技術を安全に行うことができる。				
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	エステティック総論、アロマセラピー総論、プロボディⅡ、エステティックカウンセリングⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ペディキュア	2コマ：オリエンテーション 2コマ：ペディキュア デモンストレーション
2		ペディキュア デモンストレーション・練習
3	ペディキュア リフレクソロジー	リフレクソロジー反射区《理論》 手技（親指の使い方）反射位置・効果・注意点 ペディキュア 練習
4		台湾式フットマッサージ《理論》・フットケアについて 疾病・道具・フットパス・足の観察 相モデルで練習 ・ ペディキュア 練習
5	ペディキュア リフレクソロジー	リフレクソロジー・ペディキュア 成績評価1
6	オリジナル・スウェディッシュマッサージ導入	オリジナル・スウェディッシュマッサージ導入

7		オリジナルマッサージ デモンストレーション
8	スウェディッシュマッサージ練習	オリジナルマッサージ 練習
9		オリジナルマッサージ 練習
10		オリジナルマッサージ 練習
11		プレ・前操作・ブレンディング 背部
12	ロミロミ アロマセラピー	下肢背面・下肢全面・ブレンディング
13		腹部・デコルテ・頭部・ブレンディング
14		ブレンディング コンサルテーション・的確な部位のマッサージ〜クロージング 成績評価2
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	スパセラピーⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	スパセラピーⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	3	60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・ヒーリングテキスト エッセンシャルオイルセット・クリエヌ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	選択科目の技術を学ぶ。 ・東洋医学・フットケア ・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー				
到達目標	エステティシャンとしての接客マナーを実践し、選択科目のさまざまな技術を安全に行うことができる。				
評価基準	実技試験60%/授業態度・提出物など20% エステ研修試験結果20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	エステティック総論、アロマセラピー総論、プロボディⅡ、エステティックカウンセリングⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	エステ研修	エステ研修の実施
2		
3	タラソセラピー	理論 タラソセラピーとは歴史・効果 注意・禁忌事項・応用
4	タラソセラピー	タラソパック デモタラソの活用実技 ソルトピーリング/海泥パック/海藻パック
5	ストーンセラピー (マッサージ手技はスウェディッシュマッサージ)	ホット・コールドホットストーンの歴史 チャクラとは？チャクラの位置
6		前操作～腰背部～下肢後面 のデモンストレーション・練習
7	ストーンセラピー (マッサージ手技はスウェディッシュマッサージ)	仰向けへのセット～下肢前面・腕・デコルテのデモンストレーション・練習

8	ジ)	成績評価1
9	脱毛(実技理論含む)	脱毛理論(全体で6時間) 禁忌・注意事項など
10		脱毛理論・実技・最新脱毛機器について
11	アールヴェーダ	背中～腕のデモンストレーションと練習 背中～腕の練習
12		脚後面のデモンストレーションと練習 脚後面の練習
13		上半身前面のデモンストレーションと練習 上半身前面の練習
14		カウンセリング～マッサージ(体質判定・オイル選び・部位選択) 成績評価2
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	検定対策Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格に繋がる知識・技術をマスターし、実践できる				
到達目標	ネイルの基礎的な技術に加え、付け爪技術のスカルプチュアやジェルネイルの知識・技術をマスターし、ネイル検定1級・ジェル検定上級まで取得				
評価基準	検定結果30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> 出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・ジェルネイルⅡ・検定対策Ⅱ/Ⅲ・検定対策&スカルプチュアⅠ/Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	関根 魅幸 他1名	実務経験		○	
実務内容	ネイルサロン4年勤務後、フリーネイリストとしてスクールと出張ネイルを兼務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入 1年次の復習	1年間の授業の流れ 1年次のジェルネイルの復習
2	JNEC2級検定の振り返り ジェル中級対策1	JNEC2級の振り返り ジェル中級に向けて実技練習
3	ジェル中級対策2	ジェル中級に向けて実技練習
4	ジェル中級対策3	ジェル中級に向けて実技練習
5	ジェル中級対策4	ジェル中級に向けて実技練習
6	ジェル中級対策5	ジェル中級に向けて実技練習
7	JNEC1級対策1 または ジェル中級対策6	JNEC1級検定のセッティング及び流れを覚える
8	JNEC1級対策2	JNEC1級検定のセッティング及び流れを覚える

9	JNEC1級筆記模擬試験・対策	1級試験 筆記試験対策
10	JNEC1級対策3	JNEC1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
11	JNEC1級対策4	JNEC1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
12	JNEC1級対策5	JNEC1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
13	実技テスト	実技テスト
14	筆記テスト 実技対策	筆記テスト 実技対策
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	検定対策Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格に繋がる知識・技術をマスターし、実践できる				
到達目標	ネイルの基礎的な技術に加え、付け爪技術のスカルプチュアやジェルネイルの知識・技術をマスターし、ネイル検定1級・ジェル検定上級まで取得				
評価基準	検定結果30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> 出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・ジェルネイルⅡ ・検定対策Ⅱ/Ⅲ・検定対策&スカルプチュアⅠ/Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	JNEC1級対策1	JNEC1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
2	JNEC1級対策2	JNEC1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
3	JNEC1級対策3	JNEC1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
4	ジェル上級対策1	ジェル上級に向けて実技練習
5	ジェル上級対策2	ジェル上級に向けて実技練習
6	ジェル上級対策3	ジェル上級に向けて実技練習
7	ジェル上級対策4	ジェル上級に向けて実技練習
8	ジェル上級対策5	ジェル上級に向けて実技練習

9	ジェル上級対策6	ジェル上級に向けて実技練習
10	ジェル上級対策7	ジェル上級に向けて実技練習
11	ジェル上級対策8	ジェル上級に向けて実技練習
12	実技練習	振り返りの実施
13	実技テスト	実技テスト
14	筆記テスト 実技練習	筆記テスト 実技練習
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	検定対策&スカルプチュアⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策&スカルプチュアⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格レベルの知識技術をマスターし、サロンで通用するスカルプチュア技術の習得する				
到達目標	付け爪技術のスカルプチュアやジェルネイルの知識・技術をマスターし、ネイル検定1級・ジェル検定上級まで取得と共にネイリストとしてサロンで通用する技術レベルへの習得				
評価基準	授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト60%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・検定対策Ⅱ/Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大矢 貴恵 他1名	実務経験		○	
実務内容	ネイルサロン勤務23年。トータルビューティサロン経営。ネイルスクール指導。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入 1年次の復習 1級実技説明	1年間の授業の流れ 1年次及びJNEC2級の復習をしJNEC1級に向けて実技練習
2	JNEC1級対策1	1級検定のセッティング及び流れを覚える
3	JNEC1級対策2	1級検定のセッティング及び流れを覚える
4	JNEC1級対策3	1級検定のセッティング及び流れを完全にマスターする
5	JNEC1級対策4	1級検定のセッティング及び流れを完全にマスターする
6	JNEC1級対策5	JNEC1級検定に向けての実技練習
7	JNEC1級対策6	JNEC1級検定に向けての実技練習
8	JNEC1級対策7 筆記テスト	JNEC1級検定に向けての実技練習 筆記テスト

9	JNEC1級対策8	JNEC1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
10	JNEC1級対策9	JNEC1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
11	JNEC1級対策⑩	JNEC1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
12	JNEC1級対策⑪	JNEC1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
13	実技テスト	実技テスト
14	実技テスト	実技テスト
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	検定対策&スカルプチュアⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策&スカルプチュアⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格レベルの知識技術をマスターし、サロンで通用するスカルプチュア技術の習得する				
到達目標	付け爪技術のスカルプチュアやジェルネイルの知識・技術をマスターし、ネイル検定1級・ジェル検定上級まで取得と共にネイリストとしてサロンで通用する技術レベルへの習得				
評価基準	検定結果30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・検定対策Ⅱ/Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	JNEC1級検定内容確認 (筆記・実技)	1級検定について注意事項説明・筆記対策と実技練習
2	JNEC1級対策1	JNEC1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
3	JNEC1級対策2	JNEC1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
4	スカルプチュア1	クリアスカルプチュア 実技10本
5	スカルプチュア2	グラデーションスカルプチュア 実技10本
6	スカルプチュア3	グラデーションスカルプチュア 実技10本
7	スカルプチュア4	フレンチスカルプチュア デモ・実技
8	スカルプチュア5	フレンチスカルプチュア 実技

9	スカルプチュア6	フレンチスカルプチュア 実技 バーチャルフレンチスカルプチュア デモ
10	スカルプチュア7	スピードスカルプチュア 相モデルで10本
11	スカルプチュア8	スピードスカルプチュア 相モデルで10本
12	スカルプチュア9	ジェルを載せるときのサロンでの長さだしの練習
13	筆記試験 実技試験	筆記試験 実技試験
14	実技試験	実技試験
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ジェルネイルⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ジェルネイルⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	ジェルの特性を理解し、知識と技術の両面ともマスターし、お客様にご説明して施術できる				
到達目標	ネイルの基礎的な技術に加え、ジェルネイルの知識・技術をマスターし、ジェル検定上級まで取得				
評価基準	検定結果30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・検定対策Ⅱ/Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	関根 魅幸 他1名	実務経験		○	
実務内容	ネイルサロン4年勤務後、フリーネイリストとしてスクールと出張ネイルを兼務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入・教材確認 ジェルデザイン実技1	教材説明・グラデーション・フレンチのデザインを学ぶ
2	ジェルデザイン実技2	シールを埋めるやり方・ラインテープの貼り方・タテグラデ・逆フレンチなど様々なデザインを学ぶ
3	スカルプ(クリア)デモ・実技	ジェルスカルプ(クリア)デモ・実技
4	マシーンオフ・プレパ	マシーンオフとプレパレーション実技
5	マシーンオフ・プレパ	マシーンオフとプレパレーション実技
6	中級検定実技1	中級検定内容を学び技術をマスターする
7	中級検定実技2	中級検定内容を学び技術をマスターする
8	中級検定実技3	中級検定内容を学び技術をマスターする

9	ジェル上級説明、チップオーバーレイデモ実技	上級検定へ向けてジェルチップオーバーレイデモ実技(ナチュラル・フレンチ)を学ぶ
10	ジェルチップオーバーレイ実技	上級検定へ向けてジェルチップオーバーレイデモ実技(ナチュラル・フレンチ)を学ぶ
11	ジェルアート実技1	上級検定のフラワーのジェルアートの技術をマスターする
12	ジェルアート実技2	上級検定のフラワーのジェルアートの技術をマスターする
13	実技テスト	実技テスト
14	筆記テスト 実技練習	筆記テスト・実技練習
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ジェルネイルⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	ジェルネイルⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	ジェルの特性を理解し、知識と技術の両面ともマスターし、お客様にご説明して施術できる				
到達目標	ネイルの基礎的な技術に加え、ジェルネイルの知識・技術をマスターし、ジェル検定上級まで取得				
評価基準	検定結果30％・授業態度他10％・筆記テスト30％・実技テスト30％				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・検定対策Ⅱ／Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ジェルスカルプ実技	クリア・フレンチのジェルスカルプ実技
2	ジェルスカルプ・チップオーバーレイ実技	クリア・フレンチのジェルスカルプとジェルチップオーバーレイ実技
3	ジェルスカルプ実技(相モデル)	ジェルスカルプ実技(相モデル)
4	上級検定実技1	ジェルネイル検定上級実技
5	上級検定実技2	ジェルネイル検定上級実技
6	上級検定実技3	ジェルネイル検定上級実技タイムトライアル
7	デザインジェル・実技1	流行のデザインなどの研究も含めて様々なデザインのジェルネイルの実技
8	デザインジェル・実技2	流行のデザインなどの研究も含めて様々なデザインのジェルネイルの実技

9	デザインジェル・実技3	流行のデザインなどの研究も含めて様々なデザインのジェルネイルの実技
10	デザインジェル・実技 ジェルフィルイン1	様々なデザインのジェルネイルの実技、ジェルフィルイン実技
11	デザインジェル・実技 ジェルフィルイン2	様々なデザインのジェルネイルの実技、ジェルフィルイン実技
12	ジェル実技(10本)相モデル1	サロンワークを意識して長さ出しやデザインなどのテーマを決めて施術を行う
13	ジェル実技(10本)相モデル2 筆記テスト	サロンワークを意識して長さ出しやデザインなどのテーマを決めて施術を行う
14	後期実技試験 (上級検定内容)	総復習として実技試験を行なう
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	コンテストⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	コンテストⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	授業内で技術を磨き競わせ、自身で諦めない気持ちやモチベーションを向上させ維持することを実践できる				
到達目標	アジアネイルフェスティバルコンテスト入賞を目指す				
評価基準	授業態度20%・実技テスト80%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・ジェルネイルⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大矢 貴恵 他1名	実務経験		○	
実務内容	ネイルサロン勤務23年。トータルビューティサロン経営。ネイルスクール指導。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	コンテスト予定確認 モデル選びについて	今後のコンテスト予定を確認し目標を立てさせ技術向上を意識付けする モデル選びの重要性、サロンワークや検定とのコンテストの違いを理解する
2	ケア・カラー1	ジュニア・スチューデントケアの練習
3	ケア・カラー2	ジュニア・スチューデントケアの練習
4	ケア・カラー3	ジュニア・スチューデントケアの練習
5	ケア・カラー4 実技テスト	ジュニア・スチューデントケア 実技テスト
6	アート1	チップ作成によるアート
7	アート2	チップ作成によるアート
8	アート4	チップ作成によるアート

9	アート4 作品提出	チップ作成によるアート 作品提出
10	スカルプチュア1	ジュニア部門のスカルプ ナチュラルスカルプ練習
11	スカルプチュア2	ジュニア部門のスカルプ ナチュラルスカルプ練習
12	スカルプチュア3	ジュニア部門のスカルプ ナチュラルスカルプ練習
13	スカルプチュア4	ジュニア部門のスカルプ ナチュラルスカルプ練習
14	スカルプチュア4 実技テスト	ジュニア部門のスカルプ ナチュラルスカルプ 実技テスト
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	コンテストⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	コンテストⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	授業内で技術を磨き競わせ、自身で諦めない気持ちやモチベーションを向上させ維持することを実践できる				
到達目標	ネイルエキスポコンテスト入賞を目指す				
評価基準	授業態度20%・実技テスト80%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・ジェルネイルⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ケア・カラー1	スチューデントケアの練習と共にプロケアとしてフレンチカラーの実技
2	ケア・カラー2	スチューデントケアの練習と共にプロケアとしてフレンチカラーの実技
3	ケア・カラー3 実技テスト	スチューデントケアの練習と共にプロケアとしてフレンチカラーの実技テスト
4	ジェル1	ジェル部門(フリーデザインやアート等)の練習として様々なデザインを作成
5	ジェル2	ジェル部門(フリーデザインやアート等)の練習として様々なデザインを作成
6	ジェル3	ジェル部門(フリーデザインやアート等)の練習として様々なデザインを作成
7	ジェル4 実技テスト	ジェル部門実技テスト、または作品提出
8	アート1	チップ作成またはデザインイクステンションなどコンテスト内容に順じたアート実技

9	アート2	チップ作成またはデザインイクステンションなどコンテスト内容に順じたアート実技
10	アート3 作品提出	アート部門実技作品提出
11	スカルプチュア1	プロ部門のフレンチスカルプチュアの想定練習
12	スカルプチュア2	プロ部門のフレンチスカルプチュアの想定練習
13	スカルプチュア3	プロ部門のフレンチスカルプチュアの想定練習
14	スカルプチュア4 実技テスト	プロ部門のフレンチスカルプチュアの想定練習
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ネイルケアⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルケアⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	トリートメント・フットやマシーン技術も含め、全てのネイル技術の基本であるケアをマスターして、更なる技術向上を目指し実践する				
到達目標	短い施術時間内で無駄の無い正確な技術を行うことが出来る				
評価基準	授業態度他20%・筆記テスト40%・実技テスト40%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイル教科全般				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大矢 貴恵 他1名	実務経験		○	
実務内容	ネイルサロン勤務23年。トータルビューティサロン経営。ネイルスクール指導。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年次復習	これまでの振り返りと2級検定振り返り
2	ハンドケア トリートメント理論	マシーンを使用してのケア方法とトリートメントについて学ぶ
3	フットケア1	メタルプッシャーを使用した、トリートメント、カラー
4	フットケア2	メタルプッシャーを使用した、トリートメント、カラー
5	フットケア3	ネイルマシーンを使用した、トリートメント、カラー
6	フットケア4	ネイルマシーンを使用した、トリートメント、カラー
7	ハンドケア5	ネイルマシーンを使用した、トリートメント、カラー
8	ハンドケア6	ネイルマシーンを使用した、トリートメント、カラー

9	ケア、カラー	ラウンドの練習 色々なカラーリングの練習
10	ハンドケア（マシーン） カラー1	ネイルマシーンを使用したケアと色々なカラーリングの練習。アート練習。
11	ハンドケア（マシーン） カラー2	ネイルマシーンを使用したケアと色々なカラーリングの練習。アート練習。
12	実技テスト	実技テスト ハンドケア・マシーン
13	実技テスト	実技テスト ハンドケア・マシーン
14	筆記テスト	筆記テスト ケア・カラー
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ネイルケアⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルケアⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	トリートメント・フットやマシーン技術も含め、全てのネイル技術の基本であるケアをマスターして、更なる技術向上を目指し実践する				
到達目標	短い施術時間内で無駄の無い正確な技術を行うことが出来る				
評価基準	授業態度他20％・筆記テスト40％・実技テスト40％				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイル教科全般				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ケア、カラー1	マシンでのケアと色々なカラーを練習 様々なカットスタイルにも対応できるように学ぶ
2	ケア、カラー2	マシンでのケアと色々なカラーを練習 様々なカットスタイルにも対応できるように学ぶ
3	ケア、カラー3	マシンでのケアと色々なカラーを練習 様々なカットスタイルにも対応できるように学ぶ
4	フットケア・トリートメント・ジェル1	ジェルを取り入れたフットケア（メタルプッシャー）を学ぶ
5	フットケア・トリートメント・ジェル2	ジェルを取り入れたフットケア（メタルプッシャー）を学ぶ
6	フットケア（マシーン） トリートメント・ジェル1	ジェルを取り入れたフットケア（ネイルマシン）を学ぶ
7	フットケア（マシーン） トリートメント・ジェル2	ジェルを取り入れたフットケア（ネイルマシン）を学ぶ
8	フットケア（マシーン） トリートメント・ジェル3	ジェルを取り入れたフットケア（ネイルマシン）を学ぶ

9	フットケア（マシン） トリートメント・ジェル4	ジェルを取り入れたフットケア（ネイルマシン）を学ぶ
10	フットケア（マシン） マシンオフ1	ネイルマシンを使用したフットジェルのマシンオフ
11	フットケア（マシン） マシンオフ2	ネイルマシンを使用したフットジェルのマシンオフ
12	実技試験1	実技試験 フットケア・トリートメント・ジェル
13	実技試験2	実技試験 フットケア・トリートメント・ジェル
14	筆記テスト	筆記テスト ハンドケア(マシン)・トリートメント・カラー
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ネイルアートⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルアートⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	ポリッシュアートなどのフラットアートから3Dアートに至るまでのネイルアート全てを学び習得する				
到達目標	様々なデザインを考案し、お客様のどのような要望にもお答え出来、提供できる				
評価基準	作品提出90%・授業態度他10%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイル教科全般				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	五百 久有希 他1名	実務経験	○		
実務内容	ネイルサロン9年勤務 店長などを経験した後、講師となる。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入 作品紹介 2級検定実技	1年間の授業の流れ作品紹介 コンテスト作品を仕上げるコツ等を学ぶ 2級アート実技練習
2	エンボスアート基礎	エンボスアート基礎 ミクスチュアの取り方、ハートなど
3	エンボスアート1	エンボスの基本的な花やモチーフの実技
4	エンボスアート2	エンボスの基本的な花やモチーフの実技
5	3Dアート基礎	3Dの基本的な花やモチーフの実技
6	3Dアート応用	3Dアート応用の花やモチーフの実技
7	3Dアート(検定用)	検定用3Dアートに実技
8	エアープラシ基礎	ライン・ドット等シート練習 組立・掃除等のメンテナンスを覚える

9	エアブラシ応用1	ライン・ドット・ステンシルなどを使用したシート練習
10	エアブラシ応用2	ライン・ドット・ステンシルなどを使用したシート練習
11	ミックスメディアアート1	フラット・エンボス・3Dの技法を取り入れたアート作品を作る
12	ミックスメディアアート2	フラット・エンボス・3Dの技法を取り入れたアート作品を作る 作品提出
13	検定用アート1	1級検定アートのタイムトライアル
14	検定用アート2	1級検定アートのタイムトライアル 作品提出
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ネイルアートⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルアートⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	ポリッシュアートなどのフラットアートから3Dアートに至るまでのネイルアート全てを学び習得する				
到達目標	様々なデザインを考案し、お客様のどのような要望にもお答え出来、提供できる				
評価基準	作品提出90%・授業態度他10%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイル教科全般				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	検定用アート1	1級検定アートの実技
2	検定用アート3 タイムトライアル	1級検定アートのタイムトライアル
3	検定用アート2 タイムトライアル	1級検定アートのタイムトライアル 作品提出
4	デザインスカルプチュア1 デモ・実技	デザインスカルプチュアを学び習得する
5	デザインスカルプチュア2	デザインスカルプチュアを学び習得する
6	トレンドアート1	トレンドのネイルアートの技術を学ぶ
7	トレンドアート2	トレンドのネイルアートの技術を学ぶ
8	作品制作1	テーマと技法(エアー・フラットなど)を決めて作品を制作する

9	作品制作2	テーマと技法(エアー・フラットなど)を決めて作品を制作する 作品提出
10	タイムトライアル	サロンワークに対応するアートのタイムトライアル
11	卒業制作1	2年間の総復習
12	卒業制作2	2年間の総復習
13	卒業制作3	2年間の総復習
14	卒業制作4	2年間の総復習 作品提出
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	実技	科目名	サロンワークⅠ-Ⅰ		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワークⅠ-Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	ネイル道具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	1 マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う力、現場力を身につける 2 「美」を通して人を魅了することへの表現力を身につける。				
到達目標	1現場実践を積み、接客力を身に付けて実践することができる 2日ごろの授業のアウトプットとして、人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる。				
評価基準	テスト・小テスト：60% 授業態度：10% 提出物：20% レポート：10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	エステティックカウンセリングⅢ、アロマセラピー総論Ⅱ、フェイシャル&ボディⅡ ネイルケア&ネイルアートⅡ、パーソナルヘア&メイクⅡ、ヨガ・ピラティスⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	サロンワーク導入	<ul style="list-style-type: none"> 様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシュミレーションする 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ 施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ BEAUTY SHOWを通じ、「美」を通ず人を魅了することへの表現力を身につける
2	1年次復習	
3	サロンワーク技術練習	
4	サロンワーク技術練習	
5	サロンワーク技術練習	
6	サロンワーク技術練習	
7	サロンワーク技術練習	
8	サロンワーク技術練習	
9	サロンワーク技術練習	

10	サロンワーク技術練習	
11	サロンワーク技術練習	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシュミレーションする ・施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ ・施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ ・BEAUTY SHOWを通じ、「美」を通す人を魅了することへの表現力を身につける
12	サロンワーク技術練習・テスト	
13	サロンワーク技術練習	
14	振り返り	
15	総合授業	

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	実技	科目名	サロンワークII-J		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワークII-J		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	ネイル道具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	1 マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う力、現場力を身につける 2 「美」を通して人を魅了することへの表現力を身につける。				
到達目標	1現場実践を積み、接客力を身に付けて実践することができる 2日ごろの授業のアウトプットとして、人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる。				
評価基準	テスト・小テスト：60% 授業態度：10% 提出物：20% レポート：10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	エステティックカウンセリングⅢ、アロマセラピー総論Ⅱ、フェイシャル&ボディⅡ ネイルケア&ネイルアートⅡ、パーソナルヘア&メイクⅡ、ヨガ・ピラティスⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	サロンワーク技術練習	<ul style="list-style-type: none"> 様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシュミレーションする 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ 施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ
2	サロンワーク技術練習	
3	サロンワーク技術練習	
4	サロンワーク技術練習	
5	サロンワーク技術練習	
6	サロンワーク技術練習	
7	サロンワーク技術練習	
8	サロンワーク技術練習	
9	サロンワーク技術練習	

10	サロンワーク技術練習	
11	サロンワーク技術練習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシュミレーションする ・ 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ ・ 施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ
12	サロンワーク技術練習・テスト	
13	サロンワーク技術練習	
14	振り返り	
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	エステティックカウンセリングⅠ-J		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティックカウンセリングⅠ-J		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ-Ⅲ ナチュラルビューティースタylist検定 公式テキスト		出版社	日本エステティック協会 アロマ環境協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	植物の力に関する知識を持ち、ライフスタイルの様々な場面に活用することでカラダの内側からも外側からも美しく健康になるための知識を学ぶ。				
到達目標	カウンセリングの基本（傾聴・共感力）を身につけると共に身体の仕組みなどの知識を習得する				
評価基準	筆記試験60%・小テスト20%・授業態度、提出物など20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	ナチュラルビューティースタylist検定(任意)				
関連科目	フェイシャル&ボディⅡ・アロマセラピー総論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年振り返り	1年振り返り
2	ナチュラルビューティーに生きる	植物の力のひみつ・自分の心と体を知る・あなたのタイプをチェック
3	カラダの仕組みを知る 1	ストレスとは・ホメオスタシスとは・内分泌系の役割
4	カラダの仕組みを知る 2	ライフステージ別カラダの変化・免疫系
5	カラダの内側から整える Lesson1 カラダをつくる食事	カラダをつくる食事
6		バランスのいい食事とは・旬の食材はなぜカラダにいいのか
7	カラダの内側から整える Lesson1 カラダをつくる食事	腸を整えよう
8		カラダをあたためよう・腸活と温活
9		食事とアンチエイジング

10	カラダの内側から整える	
11	Lesson1 カラダをつくる食事	オイルとエイジングケア・レシピ紹介
12		テスト 成績評価1
13	カラダの内側から整える	睡眠の役割・睡眠のメカニズム
14	Lesson2 カラダを休める睡眠	質のよい睡眠の条件 成績評価2
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	エステティックカウンセリングⅡ-J		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティックカウンセリングⅡ-J		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ-Ⅲ ナチュラルビューティースタylist検定 公式テキスト		出版社	日本エステティック協会 アロマ環境協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	植物の力に関する知識を持ち、ライフスタイルの様々な場面に活用することでカラダの内側からも外側からも美しく健康になるための知識を学ぶ。				
到達目標	ナチュラルビューティースタylist検定合格レベル(任意) アロマやハーブを使用したアドバイスができるカウンセリング力をつける				
評価基準	筆記試験60%・小テスト20%・授業態度、提出物など20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	ナチュラルビューティースタylist検定(任意)				
関連科目	フェイシャル&ボディⅡ・アロマセラピー総論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	カラダの内側から整える	カラダを動かすことのメリット・カラダの循環を知る
2	Lesson3 カラダを巡らせる運動	運動実践(朝のストレッチ・夜のストレッチ・筋肉トレーニング)
3	カラダの内側から整える Lesson4 ココロの疲れをリセット	ココロの疲れとは? ストレスと上手に付き合うには
4		ココロとカラダの状態が現れる肌(乾燥・紫外線・酸化糖化)
5	カラダの外側から整える Lesson1 正しいスキンケアで美肌をつくる	肌トラブル別お手入れ方法(ニキビ・しわたるみ・くすみ・クマ・毛穴)
6		
7	カラダの外側から整える Lesson1	美しいカラダを保つためのボディケア
8	正しいスキンケアで美肌をつくる	スキンケアのための植物・ナチュラルコスメを使ってみよう
9	総合まとめ	成績評価1

10	カラダの外側から整える Lesson2	美しく健康な髪・髪と頭皮のメカニズム・健康な髪をつくる生活習慣
11	ヘアケアで美しい髪	
12	毎日の心がけで ナチュラルビューティー	Lesson1 正しい呼吸法 理論・実践
13		Lesson2 五感に心地よいライフスタイル
14	総合まとめ	ナチュラルビューティースタylist検定 模試 成績評価2
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	アロマセラピーⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	アロマセラピーⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	アロマセラピー検定公式テキスト 1級 ナチュラルビューティースタイリスト検定 公式テキスト		出版社	公益社団法人 日本アロマ環境協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	アロマセラピー検定対策 アロマセラピーⅠで学んだ知識の総復習と生活への応用				
到達目標	アロマセラピーにを家族や周囲の人々とともに楽しみ、健康維持の為に用いる知識を説明することができる。 アロマセラピー検定1級合格レベル				
評価基準	筆記試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	アロマセラピー検定1級				
関連科目	フェイシャル&ボディⅡ・サロンワーク・エステティックカウンセリングⅢ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年の振り返り	振り返り
2	検定対策 第1章～2章 総まとめ	1年時の総復習 ・精油のプロフィール (サイプレス・ジャーマンカモミール)
3	検定対策 第3章～4章 総まとめ	1年時の総復習 ・精油のプロフィール (ジャスミン・パチュリ)
4	検定対策 第5章～6章 総まとめ	1年時の総復習 ・精油のプロフィール (ブラックペッパー・ベチパー)
5	検定対策 第7～8章 総まとめ	1年時の総復習 ・精油のプロフィール (ベンゾイン・ミルラ)
6	検定対策 第7～8章 総まとめ	1年時の総復習 ・精油のプロフィール (メリッサ・ローズオットー)
7	総合まとめ	成績評価1 アロマ検定プレテスト
8	精油紹介1	トリートメント用 ブレンドオイル作り
9	精油紹介2	シアバタークリーン作り(パーム)

10		
11	精油紹介3	ハンガリアンウォーター・化粧水作り(もしくはクレイパック)
12		
13	精油紹介4・総合まとめ	手作りせっけん・石けん素地・成績評価2
14		
15	総合授業	総合授業を行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	アロマセラピーⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	アロマセラピーⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	アロマセラピー検定公式テキスト 1級 ナチュラルビューティースタイリスト検定 公式テキスト		出版社	公益社団法人 日本アロマ環境協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	アロマセラピー検定対策 アロマセラピーⅠで学んだ知識の総復習と生活への応用				
到達目標	アロマセラピーを家族や周囲の人々とともに楽しみ、健康維持の為に用いる知識を説明することができる。 アロマセラピー検定1級合格レベル				
評価基準	筆記試験60%/小テスト10%/授業態度、提出物など10%/アロマ検定1級合否20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	アロマセラピー検定1級				
関連科目	フェイシャル&ボディⅡ・サロンワーク・エステティックカウンセリングⅢ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	精油紹介5	オリエンテーション 練香水作り
2		練香水作り
3	アロマ1級試験復習 模擬試験	成績評価1
4	ナチュラルビューティーに関わる植物	覚えておきたい植物の有効成分 植物(アサイー・ウコン・温州みかん)
5		植物(エルダーフラワー・甘草・クコ)
6		植物(クローブ・月桃・ごぼう)
7		植物(サフラン・しょうが・すぎな)
8		植物(セージ・タイム・チャ)
9		植物(朝鮮人参・月見草・ナツメグ)

10	ナチュラルビューティーに関わる植物	植物(ペパーミント・ホーリーバジル・ゆず)
11		植物(よもぎ・レモンバーベナ・ローズヒップ)
12		総合復習
13	筆記試験	植物図鑑より 小テスト
14	模擬試験	模擬試験 成績評価2
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	フェイシャル&ボディⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	フェイシャル&ボディⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	3	60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ・クリエータ化粧品セット タオル類・消耗品類・筆記用具・ボディ化粧品		出版社	日本エステティック協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	フェイシャル&ボディⅠで学んだエステティック機器の使用方法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントの理解を深める。				
到達目標	基本的なボディ・フェイシャルトリートメントを習得する				
評価基準	実技試60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	日本エステティック協会 認定フェイシャルエステティシャン・認定ボディエステティシャン				
関連科目	カウンセリングⅢ・フェイシャル&ボディⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	フェイシャル&ボディⅡ オリエンテーション	フェイシャルエステティック 化粧品使用方法と説明
2	フェイシャル技術理論(皮膚学) カウンセリング	トリートメントの目的・皮膚の構造 カウンセリング・コンサルテーションシートの記入方法
3	ディープクレンジング復習	粒子あり・なし・酵素 手順復習
4	ディープクレンジング 吸引	スチーマーの使用方法・キッシング手順 理論含む
5	クレンジング～キッシング	クレンジング～キッシング～マッサージ 拭き取り(コットン・HOT)
6	ディープクレンジング ブラシ	ブラシの使用方法 デモ・相モデル 理論含む
7	クレンジング～ブラシ	クレンジング～ブラシ～マッサージ 拭き取り(コットン・HOT)
8	総合技術 吸引・ブラシ	成績評価1
9	ディープクレンジング 電気	イオンクレンジングもしくはディスインクラステーション 理論含む

10	クレンジング～電気	クレンジング～イオンクレンジング～マッサージ 拭き取り(コットン・HOT)
11	ディープクレンジング総合	総合復習 カウンセリングを実施し合ったものを提供
12	コンサルテーションシート	成績評価2 全体を総合し、肌にあった内容を提供できること
13	フェイシャルマスク	デモンストレーション・手技・拭き取り
14	クレンジング～マッサージ～ フェイシャルパック	クレンジング～マッサージ～ フェイシャルパック 通し
15	総合技術	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	フェイシャル&ボディⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	フェイシャル&ボディⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	3	60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ・クリエヌ化粧品セット エッセンシャルオイルセット		出版社	日本エステティック協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	フェイシャル&ボディⅠで学んだエステティック機器の使用法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントの理解を深める。				
到達目標	技術力確認試験 合格レベルの習得を目指す ボディ機器・フェイシャル機器を使用した各トラブル別に対応する施術が出来る				
評価基準	実技試60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	日本エステティック協会 認定フェイシャルエステティシャン・認定ボディエステティシャン				
関連科目	カウンセリングⅢ・フェイシャル&ボディⅠ・アロマセラピー総論Ⅱ・生理学解剖学				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ボディ技術理論 (生理解剖学) カウンセリング	トリートメントの目的・人体の構造 カウンセリング・コンサルテーションシートの記入方法
2	マッサージ復習	下肢後面・腰背部・腹部 手順確認・拭き取り
3	コンサルテーションシート	復習
4		デモスト・手技・拭き取り
5	下肢前面	相モデル練習
6		成績評価1
7	上肢・デコルテ～頭部	上肢・デコルテ・頸部・頭部 デモスト・手技・拭き取り
8	上肢・デコルテ～頭部	通し練習
9	アロマセラピーのある暮らし精油のプロフィール	香りのイメージ 安全の為の注意/イランイラン

10		精油とは/精油のもととなる植物の芳香物質/精油製造方法 オレンジ・スイート、ジュニパーベリー
11		芳香浴法・沐浴法・吸入法/精油が心身に作用する経路 ゼラニウム、ティートリー
12	アロマトリートメント(全身)	全身通し練習 アロマを相モデルの悩みに合わせてブレンドする
13		全身通し練習 アロマを相モデルの悩みに合わせてブレンドする
14		成績評価2
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ネイルケア&ネイルアートⅠ-J		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルケア&ネイルアートⅠ-J		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	基礎的なネイル技術から実践的な技術としてチップを使った付け爪を学び、JNEC2級検定取得を目指し、サロンで接客のできるアートなども含めて技術を習得する				
到達目標	基礎技術に加えてJNEC2級取得レベルとサロンで通用する技術ができる				
評価基準	前期：授業態度他20%・筆記テスト40%・実技テスト40% 後期：アート作品30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	検定対策&ジェル				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大矢 貴恵	実務経験		○	
実務内容	ネイルサロン勤務23年。トータルビューティサロン経営。ネイルスクール指導。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ネイルケア・パラフィン ・ハンドトリートメント	ハンドトリートメントと共にパラフィンパックを学ぶ
2	ネイルケア・カラー・アート	サロンで接客の出来るケア・カラー・アートを習得する
3	ネイルケア・カラー・アート	サロンで接客の出来るケア・カラー・アートを習得する
4	2級ケア・アート練習	2級検定合格へ向けてのケア・アートを習得する
5	チップラップ実技	チップラップ実技
6	チップラップ実技	チップラップ実技
7	2級実技タイムトライアル	タイム取りをして検定実技の練習を行う
8	2級実技タイムトライアル	タイム取りをして検定実技の練習を行う

9	マシンケア・オフ 講義デモ	ネイルマシンを使ったケア・オフの技術を学ぶ
10	プレパレーション・オフ	プレパレーション・オフ技術を習得する
11	ペディキュア・フットトリートメント講義デモ	フットケアを学ぶ
12	ペディキュア	フットケアを学ぶ
13	実技試験	実技試験
14	実技試験 筆記テスト	実技試験 筆記試験
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ネイルケア&ネイルアートⅡ-J		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルケア&ネイルアートⅡ-J		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	基礎的なネイル技術から実践的な技術としてチップを使った付け爪を学び、JNEC2級検定取得を目指し、サロンで接客のできるアートなども含めて技術を習得する				
到達目標	基礎技術に加えてJNEC2級取得レベルとサロンで通用する技術ができる				
評価基準	前期：授業態度他20%・筆記テスト40%・実技テスト40% 後期：アート作品30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	検定対策&ジェル				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期復習	1年次・2年次前期に学んできた事を復習をする
2	2級検定練習	2級検定へ向けての総仕上げ練習
3	2級検定練習	2級検定へ向けての総仕上げ練習
4	教材の説明エンボスアート	エンボス・3Dアートの基本的な花の作品や物体の作り方・作品の仕上げ方を学ぶ
5	エンボスアート	エンボス・3Dアートの基本的な花の作品や物体の作り方・作品の仕上げ方を学ぶ
6	3Dアート	エンボス・3Dアートの基本的な花の作品や物体の作り方・作品の仕上げ方を学ぶ
7	エンボスアート 3Dアート	エンボス・3Dアートの基本的な花の作品や物体の作り方・作品の仕上げ方を学ぶ
8	ミックスメディアアート	これまで学んできたアート技術の総復習を行う

9	ミックスメディアアート	これまで学んできたアート技術の総復習を行う
10	ミックスメディアアート	これまで学んできたアート技術の総復習を行う
11	実技試験	実技試験
12	筆記試験	筆記試験
13	卒業制作	チップを使用してのアート作品を制作
14	卒業制作	チップを使用してのアート作品を制作
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	検定対策&ジェルI		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策&ジェルI		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	JNEC2級・JNAジェル検定初級取得し、デザインジェルをマスターし、サロンでお客様に説明しながら施術が出来る				
到達目標	JNAジェル検定初級の合格し、サロンで通用する技術を身に付ける				
評価基準	前期：ジェル初級検定結果30%・宿題/授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30% 後期：宿題/授業態度他20%・筆記テスト40%・実技テスト40%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級				
関連科目	ネイルケア&ネイルアートII				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	関根魅幸	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ジェル教材の名称及び説明・ジェルシステム講義・カラーとオフのデモ	教材説明・ジェルシステム講義・UVライト(LED)で硬化するジェルシステムを学ぶ・クリアとカラーの塗布～オフまでデモンストレーション
2	初級検定説明・デモ	初級検定説明・デモ
3	クリアカラー実技	ジェルネイルの基本的な技術を学ぶ
4	ジェル初級検定実技1	初級検定内容を学び・技術を学ぶ
5	ジェル初級検定実技2	ジェル初級検定実技
6	ジェル初級検定実技3	ジェル初級検定実技
7	ジェル初級検定実技4	タイム取りをして検定実技の練習を行う
8	ジェル初級検定実技5	タイム取りをして検定実技の練習を行う

9	実技テスト1	実技テスト
10	実技テスト2 筆記テスト	実技テスト 筆記テスト
11	JNEC2級検定実技1	ファイリングやニッパーのハンドリングを改めて見直し、基礎的技術の強化を行う
12	JNEC2級検定実技2	2級検定の実技の練習を繰り返し行う
13	JNEC2級検定実技3	2級検定の実技の練習を繰り返し行う
14	JNEC2級検定実技4	2級検定の実技の練習を繰り返し行う
15	総合授業	これまでの総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	検定対策&ジェルII		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策&ジェルII		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	JNEC2級・JNAジェル検定初級取得し、デザインジェルをマスターし、サロンでお客様に説明しながら施術が出来る				
到達目標	JNAジェル検定初級の合格し、サロンで通用する技術を身に付ける				
評価基準	前期：ジェル初級検定結果30%・宿題/授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30% 後期：宿題/授業態度他20%・筆記テスト40%・実技テスト40%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級				
関連科目	ネイルケア&ネイルアートII				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期復習	1年次・2年次前期に学んできた事を復習し、練習を繰り返し技術向上を目指す
2	JNEC2級検定実技1	タイム取りをして検定実技の練習を行う
3	JNEC2級検定実技2	タイム取りをして検定実技の練習を行う
4	筆記テスト JNEC2級検定実技3	筆記テスト タイム取りをして検定実技の練習を行う
5	JNEC2級検定実技4	タイム取りをして検定実技の練習を行う
6	ジェルネイル1	フレンチ・グラデーションデモ・実技
7	ジェルネイル2	フレンチ・グラデーション・実技
8	ジェルネイル3	フレンチ・グラデーション実技

9	ジェルネイル4	ジェルチップオーバーレイ ジェルスカ ジェルオフ デモ・実技
10	ジェルネイル5	ジェルチップオーバーレイ ジェルスカ 実技
11	ジェルネイル6	ジェルチップオーバーレイ ジェルスカ 実技
12	ジェルネイル7	ジェルアート
13	実技テスト	実技テスト
14	実技テスト	実技テスト
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	パーソナルヘア&メイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	パーソナルヘア&メイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	ヘアアレンジ道具一式、ヘアアレンジテキスト		出版社	株式会社ユアサポート	

科目の基礎情報2

授業のねらい	1年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする				
到達目標	様々なスタイル技術を習得する お客様のオーダー通りにヘアスタイルの展開図を理解する				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲等20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	トータルメイクⅠ、トータルメイクⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	須賀千尋	実務経験		○	
実務内容	撮影、LIVE、ブライダル等のヘアメイク歴22年 アイリスト&アイブロウリストサロン運営6年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1年次復習	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 1年次復習(ピン・ホットカーラーなど)/振り返り
2	土台の作り方 逆毛の立て方・すき毛の使用	土台(導入・練習) 逆毛・すき毛(導入・練習)
3	夜会巻1	夜会巻(導入・練習)
4	夜会巻2	夜会巻(練習)
5	夜会巻3	本夜会(導入・練習)
6	夜会巻5	重ね夜会・本夜会(テスト・振り返り)
7	和装・洋装スタイル1	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
8	和装・洋装スタイル2	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
9	和装・洋装スタイル3	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成

10	和装・洋装スタイル4	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
11	和装・洋装スタイル5	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
12	和装・洋装スタイル6	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
13	和装・洋装スタイル7	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
14	和装・洋装スタイル8	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	パーソナルヘア&メイクⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	パーソナルヘア&メイクⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	ヘアアレンジ道具一式、ヘアアレンジテキスト		出版社	株式会社ユアサポート	

科目の基礎情報2

授業のねらい	1年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする				
到達目標	様々なスタイル技術を習得する お客様のオーダー通りにヘアスタイルの展開図を理解する				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲等20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	トータルメイクⅠ、トータルメイクⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	和装・洋装スタイル1	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
2	和装・洋装スタイル2	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
3	和装・洋装スタイル3	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
4	和装・洋装スタイル4	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
5	和装・洋装スタイル5	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
6	和装・洋装スタイル6	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
7	和装・洋装スタイル7	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
8	和装・洋装スタイル8	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
9	和装・洋装スタイル9	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成

10	和装・洋装スタイル⑩	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
11	和装・洋装スタイル⑪	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
12	卒業制作1	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)
13	卒業制作2	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)
14	卒業制作3	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	トータルメイクⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	トータルメイクⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	メイク道具一式 メイクアップテキストアドヴァンス (デジタルテキスト)		出版社	株式会社ユアサポート	

科目の基礎情報2

授業のねらい	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識しながら実践を行う				
到達目標	各テーマのメイクテクニックの理解を通じて、人物に合うメイクを施すことができる。				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲等20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイク検定アドヴァンス(任意受験)				
関連科目	パーソナルヘア&メイクⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	秋山美咲	実務経験		○	
実務内容	2005年～フリーランスで舞台や、撮影を中心にヘアメイクとして活動。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション アドヴァンス検定詳細説明/練習1	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの詳細説明/練習
2	プロポーション、錯覚	プロポーション、錯覚(導入、実践)
3	色とトーン	色の持つイメージ・トーンを持つイメージを理解し、各色が持つイメージワードを考え、組み合わせることで、メイクの幅が広がることを理解する。
4	カラーマップに沿ったメイク 質感1	カラーマップの見方を理解し、前回学んだ事を踏まえ相モデルでモデルに合ったメイクを実践。また、質感の特徴も理解する
5	カラーマップに沿ったメイク 質感2	カラーマップの見方を理解し、前回学んだ事を踏まえ相モデルでモデルに合ったメイクを実践。また、質感の特徴も理解する
6	パーソナルメイクアップ1	相モデルで骨格・パーツ診断をしパーソナルメイク実践
7	パーソナルメイクアップ2	相モデルで骨格・パーツ診断をしパーソナルメイク実践
8	スチールメイク1	作品作りに必要なテクニックを理解させ、スチールメイクに必要なベースづくりや色の出し方をマスターする。
9	スチールメイク2	SNSや雑誌等を活用してスチールメイクをする

10	スチールメイク3	SNSや雑誌等を活用してスチールメイクをする
11	フォトコンテスト対策1	テーマに合わせたデザイン画の作成、フルメイク練習
12	フォトコンテスト対策2	フルメイク(テスト、振り返り)
13	フォトコンテスト対策3	作品制作撮影
14	フォトコンテスト対策4	作品制作撮影
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	トータルメイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	トータルメイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	メイク道具一式 メイクアップテキストアドヴァンス (デジタルテキスト)		出版社	株式会社ユアサポート	

科目の基礎情報2

授業のねらい	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識しながら実践を行う				
到達目標	各テーマのメイクテクニックの理解を通じて、人物に合うメイクを施すことができる。				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲等20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイク検定アドヴァンス(任意受験)				
関連科目	パーソナルヘア&メイクⅡ、パーソナルヘア&メイクⅢ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イメージチェンジ1	イメージチェンジ(実践)
2	イメージチェンジ2	イメージチェンジ(実践)
3	イメージチェンジ3	イメージチェンジ(実践)
4	パーティーメイク1	パーティースタイルのフルメイク実践 デザイン画の作成
5	パーティーメイク2	パーティースタイルのフルメイク実践 デザイン画の作成
6	成人式メイク1	成人式スタイルのフルメイク実践 デザイン画の作成
7	成人式メイク2	成人式スタイルのフルメイク実践 デザイン画の作成
8	クイックチェンジメイク1	ワンポイントチェンジで人の印象を変える
9	クイックチェンジメイク2	前回の内容を活かし、どこをチェンジしてどう印象を変えるか プレゼンも含めメイクをする

10	クイックチェンジメイク3	テスト、振り返り
11	卒業制作1	卒業制作用のデッサン画、メイク練習
12	卒業制作2	メイク練習
13	卒業制作3	卒業制作用のデッサン画、メイク
14	卒業制作4	撮影、振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ヨガ・ピラティスⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ヨガ・ピラティスⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	YOGAポーズ解剖図鑑 ヨガマット、フォームローラー		出版社	成美堂出版	

科目の基礎情報2

授業のねらい	自分自身の身体で体感し五感を通してヨガ・ピラティスの基礎を学ぶ 根本的な理論を学び、精神肉体両面から働きかけ自らの美と健康を維持促進する				
到達目標	ヨガやピラティスの身体と精神に及ぼす好影響を説明できる ヨガやピラティスのポーズを実施する				
評価基準	テスト・小テスト：70% 授業態度：10% 提出物：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	望月美貴	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション、授業導入 ヨガとは、ピラティスとは	ヨガの基礎知識、ピラティスの知識、ヨガとピラティスの共通点/違いについて学ぶ
2	ヨガとは何か	ヨガのルーツ/歴史、ヨガとエクササイズの違いを学ぶ (実技：基本姿勢の実践)
3	ヨガの目的と効果	ヨガの目的/肉体的な効果と精神的な効果・ヨガの実践方法/3つのプロセス、ヨガのポイントについて学ぶ (実技：基本姿勢からのアーサナ)
4	ヨガの呼吸法	ヨガで呼吸が大切な理由、腹式呼吸と胸式呼吸の違いと効果について学ぶ (実技：呼吸を意識してポーズの実践)
5	ヨガの瞑想	瞑想とは・瞑想のメカニズム/瞑想の効果、自分と向き合う/シャバーサナの必要性について学ぶ (実技：ヨガフロー)
6	チャクラについて	チャクラの場所と効果について学ぶ (実技：チャクラを意識したヨガ)
7	ヨガ筆記テスト1	テストの実施
8	太陽礼拝	太陽礼拝とは、効果について学ぶ (実技：太陽礼拝)
9	女性の身体とヨガ	月の満ち欠けに合わせる暮らしについて学ぶ (実技：月の満ち欠けに合わせたヨガ)

10	ヨガのプログラミング	ヨガのプログラムを自分で考える (実技：ヨガフロー)
11	ヨガ実践	様々なポーズを理解し実践する
12	ヨガ実践	様々なポーズを理解し実践する
13	ヨガ実践	様々なポーズを理解し実践する
14	ヨガ実技テスト1	実技：ヨガフローを実施する
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ヨガ・ピラティスⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ヨガ・ピラティスⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	ピラティス大全 ヨガマット、フォームローラー		出版社	成美堂出版	

科目の基礎情報2

授業のねらい	自分自身の身体で体感し五感を通してヨガ・ピラティスの基礎を知る 根本的な理論を学び、精神肉体両面から働きかけ自らの美と健康を維持促進する方法を知る				
到達目標	美しい姿勢をアドバイスできるようになる ヨガの心身に与える影響を説明し、プログラミングが出来るようになる ピラティスの心身に与える影響を説明し、プログラミングが出来るようになる				
評価基準	テスト・小テスト：70% 授業態度：10% 提出物：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ピラティスの基本	ピラティスのルーツ/歴史、効果、目指すところ、マシンピラティスについて学ぶ (実技：基本姿勢について)
2	ピラティスの姿勢	姿勢の見方、正しい姿勢と悪い姿勢について学ぶ (実技：基本姿勢からのピラティス)
3	ピラティスの基本動作	ピラティスの代表的な動きを実践する (実技：基本動作)
4	ピラティスの呼吸法	深く呼吸する為様々な呼吸法を実践する (実技：お腹、胸、背中、脇腹の呼吸)
5	成績評価1 基本のスタートポジション	筆記テストの実施 スタートポジションの正しい姿勢を実践する
6	目的別ピラティスプログラム	初心者向けプログラムの実践
7	目的別ピラティスプログラム	姿勢改善プログラムの実践
8	目的別ピラティスプログラム	腰痛予防プログラムの実践

9	目的別ピラティスプログラム	お腹痩せプログラムの実践
10	目的別ピラティスプログラム	全身調整プログラムの実践
11	成績評価2	実技テストを実施する
12	背中メゾット	簡単エクササイズ方法の紹介・実践する（実技：背中エクササイズ）
13	部分エクササイズ	トラブルの原因／お腹、ヒップアップ、背中編について学ぶ（実技：集中エクササイズ／お腹、ヒップアップ、背中編）
14	部分エクササイズ	トラブルの原因／くびれ、美脚、パストアップ編について学ぶ（実技：集中エクササイズ／くびれ、美脚、パストアップ編）
15	課題作成	エクササイズを調べ課題を作成する（実技：ヨガ&ピラティス）

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ダイエット学Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	ダイエット学Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	ダイエット検定 1・2級テキスト		出版社	日本ダイエット健康協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	栄養・運動・生活習慣など健康で美しい体を維持するための方法を知る				
到達目標	健康で美しい体を維持するための方法を理解し 日本ダイエット健康協会ダイエット検定2級を取得する				
評価基準	テスト・小テスト：40% 検定取得30% 授業態度：10% 提出物：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	なし				
関連科目	デトックス・生理学・栄養学				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	安喰弘子	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ダイエット学 導入 ダイエットとは	ダイエット検定を取得している芸能人や有名人など紹介、検定を取ることの意義 (P21~26)、自己分析 第2章 Q1~Q5について学ぶ
2	現代ダイエットの基礎知識	第3章 Q6~Q10について学ぶ
3	体脂肪の基礎知識	第4章 Q11~Q15について学ぶ
4	カロリーと栄養素とダイエット	第5章 Q16~Q20について学ぶ
5		第5章 Q21~Q25について学ぶ
6	模擬試験1	第2章~第5章 成績評価1 テストを実施する
7	代謝とリバウンドの基礎知識	第6章 Q26~Q31について学ぶ
8	インスリンとGI値	第7章 Q32~Q34について学ぶ
9	運動とダイエット方法論	第8章 Q35~Q40について学ぶ

10	模擬テスト	成績評価2 テストを実施する
11	模試解説	模擬試験の解説を行う
12	検定前模擬試験	模擬試験と解説を行う
13	第1章 ダイエットと栄養素	PFCバランス/ビタミンとミネラル/飽和脂肪酸と不飽和脂肪酸について学ぶ
14		ダイエットを促進する栄養素と食材/飲酒によって体脂肪が増えるメカニズムについて学ぶ
15	第2章 サプリメントとダイエット	サプリメントの役割と注意点/サプリメントの効率的な使用方法について学ぶ

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ダイエット学Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	ダイエット学Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	ダイエット検定 1・2級テキスト		出版社	日本ダイエット健康協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	栄養・運動・生活習慣など健康で美しい体を維持するための方法を知る				
到達目標	健康で美しい体を維持するための方法を理解し 日本ダイエット健康協会ダイエット検定2級を取得する				
評価基準	テスト・小テスト：70% 授業態度：10% 提出物：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	なし				
関連科目	デトックス・生理学・栄養学				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第3章 体脂肪と肥満と疾病リスク	メタボリックシンドロームの定義/ 特定検診・保健指導について学ぶ 内蔵脂肪の悪玉構造/肥満の種類・定義と疾病リスク ～ 褐色脂肪細胞について学ぶ
2	第4章 GI値と内分泌系の基礎	GI値の定義～同化・異化のシステムコントロールについて学ぶ
3	第5章 神経と食欲とダイエット	ダイエットと自立神経～食欲との付き合い方について学ぶ
4	第6章 運動と筋肉と代謝	運動効果の基本～誰でもできるウォーキングについて学ぶ
5		筋肉トレーニングと基礎代謝の増加～DITエネルギー消費量比較について学ぶ
6	模擬試験	成績評価3 テストを実施する
7	模試解説	模擬試験の解説を行う
8	第6章 運動と筋肉と代謝 (補足)	運動実践を行う
9	総合まとめ	1級・2級検定内容の振り返りを行う

10	自分に合ったダイエット方法	今までの学びから卒業までの目標を立ててダイエットプランを作成する
11	自分に合ったダイエット方法	ダイエットプランを作成し発表する/食事ノートの作成をする
12	流行ダイエット	現在の流行のダイエットを研究する
13	相手に合ったダイエット方法を提案し カウンセリングする	ダイエットプランを立て提案する
14	相手に合ったダイエット方法を提案し カウンセリングする	ダイエットプランを立て提案する
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅠ-Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅡ		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	45
使用教材	インターンシップ手帳		出版社	なし	

科目の基礎情報2

授業のねらい	美容に携わるお仕事スタッフとして必要とされる社会人基礎力を身に付ける				
到達目標	<ul style="list-style-type: none">・社会人として必要な基礎スキルが身に付いている・相手の立場に立った物事の考え方ができる・社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる				
評価基準	1企業側評価75%(評価表にて採点) 2学校側評価25%(レポート提出にて採点)				
認定条件	<ul style="list-style-type: none">・実質時間数が総時間数の3分の2以上ある者・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅠ-Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	45
使用教材	インターンシップ手帳		出版社	なし	

科目の基礎情報2

授業のねらい	美容に携わるお仕事スタッフとして必要とされる社会人基礎力を身に付ける				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人として必要な基礎スキルが身に付いている ・相手の立場に立った物事の考え方ができる ・社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる 				
評価基準	1企業側評価75%(評価表にて採点) 2学校側評価25%(レポート提出にて採点)				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・実質時間数が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					